Pathscape3 Manual

∎ 概要

Devices DMX Select View DEF	Patch VLAN C	onfie 두 📻 Filte	r:	Sea	Тоо	l Bar	EL VIA12-2		
Status	Device Name	IP Addr	Subdev Name	Device Type	Subdev #		Basic Prop	erties	^
> 🛃 Online	EL VIA12-2	2.180.30.124		VIA12			Device Name	EL VIA12-2	
> 🦁 Online	EL OCTO-12	2.101.39.142		Pathport OCTO			Davies Natio		_
							Device Notes		
		Main	Windov	v			LCD Backligh Device Type		e
		Main	Windov	N			MAC Address MAC Address Provide Type Network Pr IP Mode	08.84a1.87c.87c perties Pane VIA12 vya12 sperties Static	e ,
ansaction Editor		Main	Windov	N	6	× Message Vie	MAC Address MAC Address Provide Type LOD Backligh Device Type Network Pr IP Mode	outeries Pane perties Pane VIA12 operties Stetic	e
ansaction Editor Destinatio	n	Main	Windov Current Setti	N IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	F New Setting	X Message Vie	MAC Address MAC Address Pro LGD Backliet Device Type Network Pr IP Mode	080441:07c87c perties Pane VIA12 VIA12 static	

Pathscape™は、Pathway デバイスの検索と構成を可能にするソフトウェアアプリケーションです。

Main Window 以外は、ウインドウの再配置/ドッキング解除/サイズ変更/Close ができます。
 閉じたウインドウは、画面上部の Window メニューをクリックし、見つからない項目をクリックして復元します。

Wir	ndow Help		
~	Properties T Open or close the	e Properties dockab	le window 🖡
. ~	Message Viewer Toolbar	e	Search:
	Open All Close All	ateway	



ドッキング可能なウインドウは互いの上にドロップし、積み重ねて、タブ付きビューを作成できます。 フロートボタンを押すと、タブ付きビューからウインドウをドッキング解除できます。

・ツールバーはデフォルトでは非表示になっています。ツールバーを表示するには、Window メニューをクリックし、"Toolbar"をクリックしてアイコンツールバーを有効にします。



ツールバーは、メインウィンドウのどの側にもドッキングできます。 左側(水平の場合)または上部(垂直の場合)の点線のグラブバーにマウスを合わせ、クリックして目的の場所にドラッグします。 メインウィンド ウの外に移動すると、フローティングツールバーになります。

・ メインウィンドウには、Device / DMX Patch / VLAN Config の3つのタブがあります



アプリケーションを起動すると、検出された機器が[Device]タブに表示されます。
 デバイスアイコンのドットの色で機器の接続状況が表示されます。

Status	Device Name	Device Type
> ಶ Offline	Rack Uno	Pathport 1-Port
> 🌷 Offline	Rack 1011	Pathport 1-Port
> 🄝 Online	[blank](10.53.65.172)	Pathport OCTO
> 🚼 Online	Desk VIA 12	VIA12
> 🛃 Online	Entrance NSB 4B2S	NSB PoE Station

緑:正常に接続されている

黄: ロードされたショーファイルに機器の情報があるが、まだオンラインになっていない

赤:最初は正常に接続されていたが、その後オフラインになっている

Pathscape が機器を検出しない場合、機器の再起動中、不接続、電源切断、または PC が別の VLAN へ接続されているなどが考えられます。

また、ネットワークアドレスの問題なども考えられます。

■ セキュリティ

2020 年 1 月 1 日、カリフォルニア州でサイバーセキュリティ—法が施行されました。 Pathway 製品はこれに準規させるため、下記のようになります。

- ・2020年1月1日以降に出荷された製品を使用する場合、Pathscapeはネットワーク上のすべてのデバイスの構成を許可するために単一のパスワードを必要とし、Pathscape3を使用してのみ構成できます。 また、以前のパスワードなしのファームウェア(バージョン4以下)にダウングレードできません。
- 2020年1月1日より前に出荷された製品は、Pathscape2またはPathscape3のいずれかを使用して、 パスワードなしで引き続き使用できます。
- ・フロントパネルから設定可能な製品は、独自の固有のパスワードを作成できます。(※ Ver.5 以降)
 (単一のパスワードを入力する必要があるのは、ネットワーク構成製品の場合のみです)
- ・パスワードを紛失した場合に備えて、リカバリキーを印刷または保存することを推奨します。
- パスワードとリカバリキーを紛失した場合、ネットワーク上の各デバイスを手動で工場出荷時のデフォルトに戻す必要があります。
- ・工場出荷時のデフォルトのデバイスの前に、完全なネットワーク構成をパスワードなしで保存できます。
 保存した設定を適用するには、ネットワークに新しいパスワードを設定する必要があります。
- sACN や ArtNet などの保護されていないプロトコルを受信するようにデバイスを構成するには、リスクを受け入れる必要があります。安全でないプロトコルについては、警告ボックスが出るようになります。
- ◇ セキュリティ・ドメインの紹介

ネットワークのセキュリティ管理プロセスを簡略化するために、Pathscape3 は"Security Domain"の概念を導入しています。

Device タブには、機器のドメイン名と現在の状態を示す南京錠アイコンを示す新しいビューがあります。

Select View:	Security Domain	Show Table	Filter:
Status	Security Domain	- Device Name	Device Type
Online	e 🔒 Unsecured	[blank](192.168.2.77)	Pathport 1-Port (eDIN/UNO)
🕨 🎆 Online	e 🔒 Studio	Truss 4-Port	Pathport QUATTRO
Online	e 🔒 24WML	DemoCase	Vignette Gateway DMX
Online	e 🔒 24WML	DemoVigCase	Vignette Architectural Gate
Online	9	My6824	Pathport 4-Port, eDIN

赤 - Unsecured Device (安全でない機器)

2020年1月1日以降に出荷された機器には、セキュリティを含むバージョン5ファームウェアが 搭載されます。これらの機器は、タイプ、名前、ファームウェアバージョンのみを表示します。 他のすべてのプロパティは、セキュリティドメインに追加するまで読み取ることができません。

アンバー - Secured Device not in the Current Domain (現在のドメインにない保護された機器)

セキュリティドメインに追加された機器は、黄色の南京錠で表示されます。 ファームウェア V5 の機器では、すべてのプロパティを読み取り、ネットワーク設定でショーファイルを 保存することもできますが、プロパティは読み取り専用です。 (プロパティの設定するには、ドメインにログインする必要があります。)

Locally Secured と表示されることもあります。これは、フロントパネルのみを使用して構成できるように フロントパネルを使用してパスワードを作成したことを意味します。 Pathscape で読み取り/書き込み権限を取得するには、フロントパネルから機器を factory Default に 設定し、Pathscape を使用してローカルセキュリティドメインに追加する必要があります。

禄 - Secured Device in Current Domain (現在のドメイン内の保護された機器) 🛓

パスワードを使用してセキュリティドメインにログインすると、ドメイン内の全ての機器に緑色の南京錠が 表示され、すべてのプロパティが読み取り/書き込み可能になります。

空白の Decurity Domain セル - 2020 年1月1日より前に出荷されたパージョン4ファームウェアの機器

Security Domain セルが空の場合、この機器はバージョン 4 ファームウェアを使用しており、保護できません。 Pathscape3 は、Pathscape2 とまったく同じようにプロパティを読み書きできます。 ドメインで保護するには v5 ファームウェアにアップグレードする必要があります。

※ ファームウェアのアップデートは Upgrading Device Firmware セクションを参照

Pathscape3 は V4 の機器をセキュリティなしで構成できます。 V5 で提供されるセキュリティ機能が必要な場合に更新してください

◇ セキュリティドメインの作成

- Pathscape を起動すると、オンラインの機器がデバイスビューに表示されます。
 Select View ドロップダウンから Security Domain ビューを選択します
 V5 ファームウェアを実行している各デバイスの Security Domain 列に赤い"Unsecured"が表示されます。
- ② Security メニューから New Domain を選択します。

0.11.0	Security Wizard	
	New Security Domain	
Patl	You must enter a new Security Do createAdmin and User passwords into a single security domain at an	main name and . You can only be logged ny one time.
Scap	Domain Name:	StudioB
	Admin Password:	
- Em- 9	Retype Admin Password:	
the state	User Password:	*****
	Retype User Password:	
	🗌 🐏 Show Text	
Help		Continu

③ 新しいドメイン名と管理者およびユーザーのパスワードを入力します

・管理者はパスワードの変更や、Factory Default 状態の機器をドメインに追加できます。
 ・ユーザーは機器のプロパティを変更し、ショーファイルの保存および復元ができます。
 すべてのユーザーに対して1つのユーザーアカウントパスワードがあります。

④ セキュリティで保護されていない機器をネットワークに追加するには、Unsecured チェックボックスをオン にしてから、Continue をクリックします。

Check next to the Domains will be an	devices you want to add to			
oomain creation.	vailable for selection. At lea To remove devices from a d Securi	this security do st one device m omain, you must ity Domain: S	main. Only devices that suppor uat to be selected in order to o t factory default the device. tudio8	rt Security omplete the
Security Domai	in Device Name -	IP Addr	Device Type	Serial #
8 3	[blank](10.4.203.31)	10.4.203.31	Pathport 1-Port (eDIN/UNO)	414143
13 11	(blank)(10.61.9.7)	10.61.9.7	NSB PoE Station	4000007
63 B	(blank)(10.61.9.9)	10.61.9.9	Vignette PoE Station	4000009
2 8	[blank](192.168.2.17)	192.168.2.17	Pathport QUATTRO	2000295
	Security Doma	Security Domain Device Name • • Othecured • • (blank)(10.4.203.31) • 1 (blank)(10.4.203.31) • 1 (blank)(10.61.9.7) • 1 (blank)(10.61.9.9) • (blank)(192.168.2.17)	Security Domain: S Security Domain Gauge Career Gauge C	Security Domain: Studiol Security Domain Device Name P Addr: Device Type Unaccured [blank](10.4.203.31) 10.4.203.31 Pathport 1-Port (eDIN/UNO) (blank](10.619.7) 10.619.7 N58 PoE Station (blank](102.168.2.17) 102.168.2.17 Pathport QUATTRO

⑤ リカバリキーを印刷します。



Recovery Key をクリックして Select All をクリックし、キーをクリップボードにコピーして安全な場所に 保管することもできます。



- ⑥ Continue を押して、機器をドメインに追加します。デバイスには黄色の南京錠があり、そのプロパティは 読み取り専用になります。
- ⑦ Toolbar ボタンを押して、ユーザーとしてドメインにログインします。



セキュリティパラメータが確認されると、黄色の南京錠が緑色に変わり、それらの機器のプロパティが 読み取り/書き込み可能になります。 ドメインを管理するには、[Security]メニューをクリックし、[Administration]を選択します。



Add Devices

赤い南京錠が付いている新しい機器をドメインに追加するには、このオプションを選択します。

Factory Default

機器のセキュリティ設定をクリアしてドメインから削除する場合は、Factory Defaultを選択します。 このダイアログボックスに表示されているセキュリティドメイン内の機器のみが使用できます。 パスワードを設定していないデバイスの場合、ネットワークの設定機能を回復するには、個々の 機器で Factory Defaults をかける必要があります。

Change Passwords

スタッフが変わった場合などは、ドメインのパスワードを変更することを推奨します。 (パスワードを変更するときは、すべての機器がオンラインである必要があります)

注: 一部の機がをオフラインの状態で、パスワード変更した場合、それらの機器はオンラインに戻る と、同じドメイン名になりますが、古いパスワードを使用します。 Factory Default をかけ、新しいパスワードを使用して新しいドメインに追加する必要があります。

メニューの Security > Administrator オプションを使用して、Factory Defaults をかけられます。 ログインを求められると、同じ名前の2つのドメインがあります。2番目のドメインを選択し、古い パスワードを使用して、リストされている機器に Factory Default をかけます。 それらがオンラインに戻ったとき、Unsecured としてリストされるので、新しいパスワードを使用して それらを新しいドメインに追加します。

◇ Local Security - Pathscape 無しでの Touring Edition、QUATTRO、OCTO の使用

フロントパネルのユーザーインターフェイスを備えている、Touring Edition、OCTO、および QUATTRO は、 Pathscape を必要とせずに、標準のユニバースを使用する単純な入出力ゲートウェイとして構成できます。 PC を備えたコンピュータネットワークは使用されていませんが、サイバーセキュリティ法では、'悪意のある者' が PC を使用してリモートで構成を変更しないようにするために、一意のパスワードが必要です。

- ① フロントパネルの Utility メニューから、Enable Local Security にします。
- 2 Protocol メニューで、Allow Unsecured にします。
- ③ 受信するプロトコルの Rx を有効にします
- ④ 各ポートで、Port Direction を Input または Output に設定し、標準のユニバース(Univ 1 など)にパッチを適用します。
- ※ 安全でないプロトコルに関する警告

暗号化または認証を使用しないオープンプロトコルを有効にしています。これらのプロトコルは、 悪意のある者によって影響を受ける可能性があります。 物理的および技術的にネットワークへのアクセスを保護することを強くお勧めします。 続行するには、この声明を読み、これらのリスクを受け入れたことを認める必要があります。

Pathscape を開くと、このデバイスは Locally Secured ドメインの一部になります。

このセキュリティドメインにログインできません。この機器にカスタムユニバースを設定またはパッチする場合は、フロントパネルを使用して Factory Defaults をかけて、Pathscape を使用してセキュリティドメインに追加する必要があります。

◇ ドメインの復旧

管理者パスワードを紛失した場合、ドメインを回復し、その構成を保持して新しいパスワードを設定できます。

- ① メニューから、[Security] > [Recovery Domain]を選択します。
- 20桁の Recovery Key を入力して、 [Continue]を押します。



③ 新しい Admin Password を入力します。



④ メニューから Security > Administration
 を選択し、新しいユーザーパスワードを
 設定して、パスワードを変更します。



◇ 不明なドメインからの機器設定の保持

セキュリティドメインのパスワードがわからない場合でも、すべての構成を保持することができます。 ドメインにログインしない場合に表示される黄色の南京錠の機器は読み取り専用です。 ショーファイルを保存すると、すべての機器の設定が保存されます。その後、規定の方法を使用して機器 に Factory Default を設定できます。

それらが赤い南京錠で Pathscape に再表示されたら、セキュリティドメインに追加してから、表示ファイルを 開き、すべてのトランザクションを送信して、ネットワーク構成とパッチを復元します。

◇ 新しいデバイスでの古いバージョンのパスケープの使用

2020 年 1 月 1 日以降に出荷された機器(バージョン 5 ファームウェア)で Pathscape1 または Pathscape2 を使用する場合、それらを構成することはできません。 Pathscape3 を使用する必要があります。 注意として、デバイスラベルは以前のバージョンの Pathscape では「Use Latest Pathscape PC software to secure(最新の Pathscape PC ソフトウェアを使用して保護する)」と表示されます。 プロパティは正しく 表示されますが、それらを変更しようとすると失敗します。

Device View

Devices DN	IX Patch VLAN Config				
Select View: D	EFAULT VIEW 🔻 🧮 Filt	er:	Search:		~ C
Status	Device Name	Device Type	IP Addr	Subdev Name	Subdev #
> 🌏 Onlin	e [blank](10.53.65.172)	Pathport OCTO	10.53.65.172		
> 🚼 Onlin	e Desk VIA 12	VIA12	10.7.200.77		
> 🚼 Onlin	e Entrance NSB 4B2S	NSB PoE Station	10.61.9.20		
> 🌏 Onlin	e Light Panel 1012	Pathport 2-Port	10.0.78.211		
> 🚼 Onlin	e NSB 4B3S3S	NSB PoE Station	10.61.9.8		
> 🚼 Onlin	e NSB Gateway Slider Wall	NSB 485 Station			
> 🚼 Onlin	e NSB Gateway Wall	NSB 485 Gateway	10.61.10.243		
> 🌏 Onlin	e Rack 2-Port	Pathport C-Series	10.0.32.189		
> 🌏 Onlin	e Rack 1012	Pathport 2-Port	10.0.79.235		
> 🌏 Onlin	e Rack 1014	Pathport 4-Port	10.1.143.13		
> 🌏 Onlin	e Rack Octo	Pathport OCTO	10.6.27.72		
> 🌏 Onlin	e Rack Quattro	Pathport QUAT	10.1.139.227		
> 🌄 Onlin	e Rack VIA 10	VIA10	10.7.162.100		
> 🚼 Onlin	e Rack VIA5	VIA5 with Fiber,	10.30.132.148		
> 🚼 Onlin	e Rack VIA12	VIA12	10.7.201.142		
> 🌖 Onlin	e Rack Vignette Clock	Vignette Clock	10.61.9.44		
<					>

このタブには、ネットワーク上で検出された、または show ファイルで構成されたすべての機器が表示されます。 デバイスアイコンまたはドロップダウン矢印をダブルクリックして、個々のサブデバイスを確認します。 列は、水平方向にドラッグアンドドロップして並べ替えたり、列見出しをクリックして並べ替えたりできます。 列見 出しの矢印は、昇順または降順のソート順を示しています。

Status	Device Name	Device Type Device Type	Status		Device	Device Type
1 Onlin	e Kris's Choreo	Choreo	s 🖪	Online	[blank](10.53.65.1) Dev	ice Name PDIN
> 🚼 Onlin	e NSB Gateway Wall	NSB 485 Gateway	· •	onnic	[blank](10.55.05.11 Det	ice ivanie conv
> 🚼 Onlin	e NSB Gateway Slider \	Wall NSB 485 Station	> 😸	Online	Desk Rack 2-Port	Pathport C-Series
> 🚼 Onlin	e Entrance NSB 4B2S	NSB PoE Station	> 🍓	Online	Desk Rack 1011	Pathport 1-Port
> 👌 Onlin	e NSB 4B3S3S	NSB PoE Station	 > 😻	Online	Desk Rack 1012	Pathport 2-Port
列を	クリックし、水平	方向にドラッグして再配置		列見出し	をクリックして、ソート方「	向を変更

◇ デバイスのプロパティの変更

<u>プロパティペインの使用</u>

プロパティペインは、Pathscapeの主要なレポートおよび設定ツールです。 表示されるオプションは、メインウィンドウでの選択によって異なります。

各デバイスには変更可能なプロパティのセットがあります。 プロパティは、プロパティのデータ型に応じて、さまざまなコントロールで変更されます。

新しいデバイスまたは工場出荷時の状態にリセットされたデバイスは、IP アドレスをデフォルトの 名前/ラベルとして使用します。Stage Left Outputs、Server Room Switch などのわかりやすい名前、 またはわかりやすい別の名前に変更する必要があります。

メインビューで機器をクリックし、Properties ペインの Device Name に適切な名前を入力します。

>	🔄 Online	e [b	lank](10.30.132.120)	VIA16, eDIN
	Prop	erties		₽×
		[blank] (10.30.132.12	20)	
		Basic Propertie	s	^
		Device Name	Server Room VIA16	
		Device Notes		
		Mac Address	00:04:a1:1e:84:78	
		Firmware Version	4.0.2.17	
		Identify Device		
		Serial Number	PP 1999992	
		Device Type	VIA16, eDIN	

変更したプロパティが適用されていない場合、そのフィールドは上記のように黄色で表示されます。 変更を適用するには、Transaction Editor ペインの下部にある[Send All]ボタンをクリックして、変更を デバイスに送信します。

Destination	Property	Current Setting	New Setting	Filter:
Server Room VIA16	Device Name		Server Room VIA16	Date

トランザクションが送信されてデバイスに保存されると、トランザクションは Transaction Editor の リストから消去され、フィールドは黄色から白に変わり、変更が適用されたことを示します。

デバイスビューを使用してデバイスプロパティを直接編集

デバイスのプロパティは、デバイスウィンドウで直接編集できます。 プロパティを編集するには、 Device ウィンドウでプロパティをダブルクリックして新しい値を入力し、[Send All]ボタンをクリック して変更を適用します。編集可能なプロパティは、デバイスウィンドウで直接編集できます。

		•		
> 😻 Online	Rack 1014	Pathport 4-Port, eD	10.1.143.13	
> 🌏 Online	Rack Octo	Pathport OCTO		10.6.27.72
> 🌏 Online	Rack Quattro	Pathport QUATTRO)	10.1.139.227
🛛 👼 Online 🛛 Rack Uno		Pathport 1-Port (eD	IN/UNO)	10.4.196.62
Chatura	Davias	Culadau Marra	Device Tree	
Status	Device Name	Subdev Name	Device Type	2
🗸 🍓 Online	Rack 1014		Pathport 4-	Port, eDIN
۲		Stage Desk]		
۲		FOH Console		
		A Out to Rig		

(※編集できるのは、テキストが黒の場合のみです。グレー表示の物は編集できません。)

◇ サブデバイスの表示

デバイスアイコンまたはドロップダウン矢印をダブルクリックして、個々のサブデバイスまたはポートとそれらのステータス(該当する場合)を表示します。

デバイス名をクリックすると、プロパティペインに基本デバイスのプロパティも表示され、編集できます。

スイッチやゲートウェイなどの一部のデバイスには、ポートと呼ばれるサブデバイスがあります。 サブデバイスにも名前がある場合があります。

🗸 🌏 Online	Rack 1014	Pat	10.1.143.13			Y 🛃 Online	Rack VIA 10	VIA10	10.7.162.100		
				Stage Desk	A	-				Uno	1
				FOH Console	В	-				2-Port	2
				A Out to Rig	С	\				Quattro	3
				B Out to Rig	D	₩				TE	4
-						~				Entrance NSB	5
Pat	hport デバイ	ス(DM	X ポート)の	の例		-				Port 6	6
						VIA デバ-	イス(Ether	net ポート)	の例		

◇ 機器のフィルタリングと検索

Device ウィンドウの上部には、"Filter:"と"Search:"という2つのフィールドがあります。

Filtering

表示されている機器をフィルタリングするには、"Filter: "ボックスにテキストを入力します。 Pathscape は、入力されたテキストに一致するデバイスのみを表示します。

たとえば、VIA スイッチのみを表示するには、"Filter:"フィールドに"VIA"と入力します。

Filte	er: VIA]				8	
Select View: DEFAU	JLT VIEW	🕶 🧮 Filter	·: VIA	8	Search:	~ 🤇
Status	Device Name	Device Type	IP Addr	Subdev Name	Subdev #	
> 🛃 Online	Rack VIA5	VIA5 with	10.30.132.148			
> 🛃 Online	Rack VIA 10	VIA10	10.7.162.100			
> 🛃 Online	Desk VIA 12	VIA12	10.7.200.77			
> 🔄 Online	Rack VIA12	VIA12	10.7.201.142			
> 🛃 Online	Wall VIA16	VIA16, eDIN	10.30.132.120			

"VIA"というテキストを含む機器のみがウィンドウに表示されます。 名前以外にも、以下に基づいてフィルタリングできます。

- ・ファームウェアバージョン
- ・IP アドレス
- デバイスタイプ(VIA、Pathport など)
- PoE
- ・リンクステータス
- ・ サブデバイス番号または名前
- ・メモ(ユーザー定義)
- ・または、デバイスビューの列に含まれるその他のプロパティまたは値。

フィルターをクリアするには、テキストフィールド内の[X]をクリックします。

Searching

Device ビューに表示されている機器を検索するには、**"Search:**"ボックスにテキストを入力します。 [Q]ボタンをクリックすると、入力されたテキストに一致する最初のデバイスを強調表示します。 もう一度[Q]ボタンを押して"Find Next"すると、一致する次のデバイスを強調表示します。

		Sea	rch: NSB		~ 0	~		
Sele	ct View:	DEFAU	LT VIEW 🔻 🧮	Filter:	Searc	h: NSB	~	٩
Sta	atus		Device Name	Device Type	IP Addr	Subdev Name	Subdev #	^
>	🚼 Oi	nline	NSB Gateway Wall	NSB 485 Gateway	10.61.10.243			
>	🚼 Oi	nline	NSB Gateway Slider Wall	NSB 485 Station				
>	🚼 Oı	nline	Entrance NSB 4B2S	NSB PoE Station	10.61.9.20			
>	🚼 Oi	line	NSB 4B3S3S	NSB PoE Station	10.61.9.8			
>	🏐 Oi	nline	Rack 1011	Pathport 1-Port (eDIN/UNO)	10.4.194.20			
>	🌒 Or	nline	Rack Uno	Pathport 1-Port (eDIN/UNO)	10.4.196.62			
>	🌏 OI	nline	Light Panel 1012	Pathport 2-Port, eDIN	10.0.78.211			

◇ カスタムビューの選択

デバイスビューでは、機器が他の機器情報と共にいくつかの列に表示されます。これらの列には、機器の 名前、タイプ、IP アドレスなどが表示されます。 Pathscape には表示できる数十のプロパティ列があります。

Pathscape には、[Select View:]ドロップダウンの下にカスタムビューメニューがあり、異なる列ビューを簡単に切り替えることができます。



リストの最初の項目は DEFAULT VIEW です。これは、Pathscape を初めて起動したときに表示されます。 Status、Device Name、Device Type、IP Address、Subdevice Name、Subdevice #の列で構成されています。

プレインストール済みビューの使用

デフォルトのビューアイテムの下には、特定の基準を確認するのに便利な"Canned(既定の)"プリセット ビューがあります。

例えば、"NSB Wall Stations"という名前のビューは、それらの NSB デバイスのみを表示し、プロパティ 列のレイアウトを Status、Device Parent、Subdevice Name、Subdevice #、Family("NSB サブデバイス" でフィルター)、状態(ボタンが押された、押されていない、またはスライダーレベル 0~255)。 また、Device ビューのレイアウトをツリービューからテーブルビューに変更します。 これにより、ネット ワーク上のすべての NSB デバイスのステータスを簡単に確認できます。

デバイスやプロパティを簡単に表示するためのビュープリセットは他にもいくつかあります。Select View ドロップダウンメニューをクリックし、表示されているプリセットのいずれかをクリックして確認します。

<u>ユーザーが定義したビュー</u>

特定のニーズに合わせて独自のカスタムビューを作成できます。 [View]メニューをクリックし、

[Property Columns]を選択します。

メインのデバイスビューウィンドウの任意の場所を右クリックして、そこから[Property Columns]を選択 することもできます。

			Table	. *	¥.	Column Filter	Search: V KF
Viev	w Device Tools Setting	gs Window Help	e	IP		Expand All	Subdev #
9	Select View		-Series -Port	10 10	×	Collapse All	
19	Save View	Identify Un-identify New Snapshot M	Port.	10	V	Identify	
2	View Manager		Port	10		Un-identify	
Ĩ	Property Columns	Chau Tabla Eilteau	lock CTO	10 10	*	Discover All RDM	
	Resize All Columns	Show Table Filter:	UAT	10	19	Save View	
	Set th	Device Type IP Addr ST	Port	10	2	View Manager	
~	Expand All	Pathport C-Series 10.0.32.189	iber	10	TT.	Property Columns	
X	Collapse All	Pathport 1-Port 10.4.194.20	100 miles	10		Remove Column 5	t the viewable properties in the device view.
			ation	10	-	Resize to Contents	

これにより、[Property Columns]ウィンドウが開きます。

Filter:		Search:					
Category Vignette Zone	Column Label	Description Number of Fixtures	Display				
Vignette Zone	# of Slots	Slots per Fixture					
E1.31 sACN Properties	# of Univs	Number of Universes					
Vignette Snapshot	1st Univ	DMX First Universe					
Vignette Snapshot	2nd Univ	DMX Second Universe					
Vignette Snapsh <mark>o</mark> t	3rd Univ	DMX Third Universe					
Vignette Snapshot	4th Univ	DMX Fourth Universe					

Property Columns ウィンドウには、Category、Column Label、Description(説明)、Display(表示)の4つの 列があります。

デフォルトでは、列はカテゴリの昇順で並べ替えられています。並べ替え方法を変更するには、矢印が 目的の方向になるまで目的の列ヘッダーをクリックします(昇順の場合は上、降順の場合は下)。

Categpry 列は、さまざまなプロパティを一般的なカテゴリに分けます。 (Basic Properties、Advanced Properties、Device、DMX ポートなど)

Column Label 列には、表示される個々のプロパティの名前またはラベルがリストされます。 (デバイス名、デバイスタイプ、シリアル番号、ポート方向など)

Device ウィンドウやメッセージビューアーと同様に、Property Columns ウィンドウをフィルター/検索して、 探している Column Property をすばやく見つけることもできます。

目的の列プロパティを表示するには、Display 列をクリックし、プロパティにチェックマーク[✔]を付けます。 (チェックマークを外すにはもう一度クリックします)

[✔ OK]ボタンをクリックすると変更を確定します。[X Cancel]をクリックすると変更を破棄します。

新しい列のプロパティが表示されたら、Save View [日]機能を使用して、後で使用できるようにレイアウトを保存します。

既存のビューの変更

ビューが何らかの変更をすると、選択したビューは、名前の前に"*"(アスタリスク)が表示されます。 これは、変更された未保存のビューということを示します。



変更が完了し、新しいビューが気に入った場合は、[Save View 日]機能で保存します。 変更したビューを保存せずに別のビューを選択しようとすると、確認ダイアログが表示されます。



[No]をクリックすると、ビューへの変更が破棄されます。

[Yes]をクリックすると、Save View ダイアログが開き、新しいビューに名前を付けることができます。

<u>列のフィルタリング</u>

カスタムビューのフォーカスを増やすために、個々のプロパティ列をフィルタリングすることもできます。 目的の列が表示されたら、適切な列を右クリックして[マ Column Filter]をクリックし、フィールドにテキスト を入力して、選択した列をフィルターします。

Devices	DMX Patch VLAN	Config	Column Filter ?	×
Select View:	NSB Wall Stations	👻 🏣 Show	v Tree Filter for Subdev Name:	
Status	Device Pare	ent Subdev N	lame	
A	Entrance NS	B Button 1	Clear Filter	
A	Entrance NS	SB Button 2		
A	Entrance NS	SB Button 3		
A	Entrance NS	SB Button 4		
Î	Entrance NS	SB Slider 1	OK Ca	ancel
1	Entrance NS	SB Slider 2	OK Ca	neer

フィルターするテキストを入力したら、[OK]ボタンをクリックして適用します。

フィルターされた列の見出しの横にマアイコンが表示され、一致するプロパティのみが列に表示されます。

Select View:	*NSB	Wall Stations	•	Show Tree
Status		Device Parent		Y Subdev Name
A		Entrance NSB		Button 1
A		Entrance NSB		Button 2
A		Entrance NSB		Button 3
A		Entrance NSB		Button 4

上記の例では、"NSB Wall Stations"ビューにすべての NSB ステーションが表示されていましたが、 Button ステーションのみを表示したい場合は、"Button"という用語で Subdev Name 列をフィルタリング して、名前に"Button"を持つサブデバイスを表示しています。

<u> 列フィルターのクリア</u>

列フィルターをクリアするには、列を右クリックして[Clear Filter]をクリックします。 すべての列フィルターをクリアするには、デバイスビューウィンドウの任意の場所を右クリックし、 [Clear All Filters]をクリックします。 スイッチポートの場合、リンク速度とステータスもポートアイコンの色で示されます。

Icon Color		Status					
Grey 📟	Link Down	(no downstream devic	e connected)				
Blue 📟		1 Gigabit	2				
Green 🕎	100) Megabit, full or half d	uplex				
Orange 🕎	10 Megabit, full or half duplex						
🛩 🛃 Online 🛛 Rack VIA 10	VIA10						
T		Link Up 100Mbit Full Duplex	Quattro				
•		Link Up 100Mbit Full Duplex	Entrance NSB				
₽		Link Up 100Mbit Full Duplex	Port 10				
		Link Up 10Mbit Half Duplex	Uno				
T		Link Up 10Mbit Half Duplex	2-Port				
<u>@</u>		Link Up 1Gbit Full Duplex	VIA 12				

- 注 : Link Status 列を表示するには、Property Columns ウィンドウを使用して Link Status 列を 表示する必要があります。
- 注 : **アイコンは銅線の RJ45 ポートを、** アイコンは光ファイバーポートを表します。 ただし、上記で説明した色分けは、どちらのタイプのポートでも同じです。

♦ DEVICE NOTES

Notes 列には、ユーザーが Properties ペインに記録したデバイスまたはサブデバイスの詳細が表示されます。

	Basic Properti	es		^
	Device Name	Light Panel 1012		
	Device Notes	Kris' Wall Light Panel	-	_
	Mac Address	00:04:a1:00:4e:d3		
	Firmware Version	4.1.1		
	Identify Device			
	Serial Number	PP120179		
	Device Type	Pathport 2-Port, eDIN		
tatus	Device	Device Type	Subdevice	Device Notes
> 🔝 Online	Light Panel 1012	Pathport 2-Port, eDIN		Kris' Wall Light Pane

ilter:				Search	1:						~ C	Find Ne	ext
Device	Subdevice	#	Assigned	Port Direction	Unpatched	Univ 1	Univ 2	Univ 3	Univ 4	Univ 5	Univ 6	Univ 7	^
[blank](10.30.133.126)	Port A	А	Univ 1	Output		~							
[blank](10.30.133.126)	Port B	в	Univ 2	Output			~						
[blank](10.30.133.126)	Port C	с	Univ 3	Output				~					
[blank](10.30.133.126)	Port D	D	Univ 4	Output					~				
[blank](10.30.133.126)	Port E	E	Univ 5	Output						~			
[blank](10.30.133.126)	Port F	F	Univ 6	Output							~		
[blank](10.30.133.126)	Port G	G	Univ 7	Output								~	
[blank](10.30.133.126)	Port H	н	Univ 8	Output									
Desk Rack 2-Port	Port A	А	Univ 3	Input				~					
Desk Rack 2-Port	Port B	в	Univ 4	Input					~				~
<												>	

DMX Patch ウィンドウは、パッチが作成されるグリッド表示です。

◇ 機器とポート

パスポート製品は最初の Device 列に表示され、Subdevice (ポート)名は次の列に表示されます。 ポート名 を編集するには、ポートをクリックして強調表示し、Properties ペインの Subdevice フィールドを編集します。

ilter:				Sei	arch:		Desk Rack 1014-Port C	
Device	Subdevice	#	Assigned	Port Direction	Unpatched	Univ 1		
Desk Rack 1012	Port A	А	Univ 1	Output		~	Basic Properties	
Desk Rack 1012	Port B	в	Univ 49	Input			Subdevice A Out to Rig	
Desk Rack 1014	Stage Desk	A	Univ 2	Output			Subdevice Notes	
Desk Rack 1014	FOH Console	в	Univ 2	Output			DMX Port	
Desk Rack 1014	Port C	с	Univ 2	Output			DMX512 Enabled	•
Desk Rack 1014	B Out to Rig	D	Univ 2	Output			Port Direction Output	•

サブデバイス名が編集され、ポート番号が欠落している場合に備えて、サブデバイス番号(A、B、C など) が次の列に表示されます。これらは、デバイスの物理ポートラベルに対応しています。

ポート番号の横にある Assigned 列には、現在パッチが適用されている DMX ユニバースが確認できます。 Assigned 列の横には Port Direction 列があり、選択したポートの入出力を設定できます。

選択肢は、Input、Output、Disabled です。変更するには、ダブルクリックして、ドロップダウンメニューから新 しい値を選択します。

Univ 2	Output 👻
Univ 1	Input Output Disable

次の列は[Unpatched]です。これにより、ポートのパッチを解除できますが、まだアクティブな状態です。

◇ ユニバース列と範囲

Unpatched 列の右側には、個別のユニバース列があります。これらは、ウィンドウの右下隅にある [Ranges]ボタンを使用して構成できます。

				7 ^	Univ 7	Univ 6	Univ 5	Univ 4	Univ 3	Univ 2	Univ 1	Unpatched	ort Direction Output
?	Ranges	d Universe Ran	Z Standar							~			Output
									~				Output
Appen	Range End	Start	Range					~					Output
Delete	16	16	1				~						Output
Move U	20	20	18			~							Output
Move Do	40	40	33		~								Output
	19	49	49										Output
									~				Input
								1					Input

表示されるユニバース範囲はここで構成されます。これにより、必要のあるユニバースのみを簡単に表示 できます。上記の例でわかるように、不連続な範囲のユニバースが可能です。

既存のエントリを編集するには、変更する番号をダブルクリックします。 この時点で、フィールドに新しい番号を入力するか、上下の矢印ボタンを使用できます。

Range Start	Range End	Insert
1	16	Delete
18	20	Move Up
33	40	Move Down
49	49	

新しい範囲のユニバースを挿入するには、[Insert]ボタンをクリックします。 新しい範囲は、"Range Start"と"RangeEnd"プロパティの両方のデフォルト値が 0 で表示されます。

Standard Univer	se Ranges	? ×
Range Start	Range End	Insert
1	16	Delete
0	0	Move Up
18	20	Move Down

新しく挿入された範囲を編集します。

DMX パッチグリッドに表示されるユニバース範囲の順序は、Universe Range]ウィンドウに表示される 順序になります。

たとえば、Universe Range 1~16 の前に、Universe Range 33~40 を表示することができます。

これを行うには、移動したい Range をクリックし、「Move Up」または「Move Down」ボタンをクリックして、 希望の位置に移動します。

	Ra	inge Start		Ran	ge End	I	nsert	ea	rch:			
	33		40			-	elete					7
	1		16			Mo	we Up [3				
	18		20			Mo	ve sele	ted ran	ge up in	the list		
	49		49									
Devices D	MX Patch	ylane			√ 0	ж (Cance	4				6
Devices D	MX Patch	YLANS Subdevice		Accimad	Search Rest Direction	ж 🤅	Cance	d line 24	linix 25	livio 36		Contrad Net
Devices D Fiber: Devie [blank](10.30	MX Patch :e 1.133.126)	yLANS Subdevice Port A	# A	Assigned Univ 1	Search Port Direction Output	DK (Cance	d Univ 34	Univ 35	Univ 36	Univ 37	Univ 38
Devices D Filter: Devin (blank)(10.30 (blank)(10.30	MX Patch :e 1.133.126)	yLANS Subdevice Port A Port B	# A B	Assigned Univ 1 Univ 2	Search Port Direction Output Output	NK (Cance	Univ 34	Univ 35	Univ 36	Univ 37	Univ 38
Devices D Filter: [blank](10.30 [blank](10.30 [blank](10.30	MX Patch :e 1.133.126) 1.133.126)	Subdevice Port A Port B Port C	# A B C	Assigned Univ 1 Univ 2 Univ 3	Search Port Direction Output Output Output	NK (Cance	Univ 34	Univ 35	Univ 36	Univ 37	Univ 38

Universe Ranges Configuration ウィンドウを使用して、アクティブなユニバースのカスタムビューを必要な 順序で簡単に設定できます。

◇ DMX ポートのパッチ

ポートにユニバースにパッチするには、ウィンドウを水平方向にスクロールし(必要な場合)、ポートをパッチ するユニバース列を見つけます。目的の列とポートと交差するセルをダブルクリックして、ポートをその ユニバースにパッチします。

ilter:				Searc	h:				
Device	Subdevice	#	Assigned	Port Direction	Unpatched	Univ 1	Univ 2	Univ 3	Univ 4
Desk Rack 1012	Port A	A	Univ 1	Output		~			
Desk Rack 1012	Port B	в	Univ 49	Input					
Desk Rack 1014	A Out to Rig	с	Univ 1	Output		× .			
Desk Rack 1014	B Out to Rig	D	Univ 2	Output		45	~		
Desk Rack 1014	FOH Console	в	Univ 2	Output			~		

選択すると、トランザクションが Transaction Editor に表示されます。

[◊ Send]ボタンをクリックして変更を確認します

◇ カスタムパッチ

カスタムパッチを作成するには、DMX Patch ウィンドウの下部にある [New] ボタンをクリックします。これに より、Full Universe Patch Editor ウィンドウが表示されます。

universe name:	istom		
Universe	Priority	Remove	
	Add Universe		

ウィンドウの上部で、Universe Name:にカスタムパッチの名前を入力します。(デフォルトは"Custom")

ウィンドウの下部には、[Add Universe]と[Advanced Editor]の2つのボタンがあります。

複数のユニバースのマージなど、単純なカスタムパッチの場合は、[Add Universe]ボタンをクリックします。 これにより、Universe、Priority、Removeの列を持つユニバース行が1つ追加されます。

verse name: Cu	stom	
Universe	Priority	Remove
Univ 1	High	×
Univ 1	High	×

Universe 列にはソースユニバース、Priority 列には優先度(デフォルトは High)、Remove 列では[×]をクリック して不要なエントリを削除できます。

目的のユニバースを選択するには、"Univ 1"セルをダブルクリックします。次に、上矢印と下矢印を使用して、 目的のユニバースを選択します。ユニバース番号を直接入力することもできます。



ソースの優先度レベルを選択するには、デフォルトで"High"と マークされている Priority セルをダブルクリックします。次に、 ドロップダウンメニューで優先度レベルを選択できます。

Universe	Priority	Remove
Univ 1	High	×
Univ 2	High 🔻	×
	High 2 3 4 5 6 7 Low	

問題がなければ、[Save]ボタンをクリックします。変更を破棄するには、[Exit]ボタンをクリックします。 その後、変更を保存または破棄する別の機会があります。



[✔ Save]ボタンをクリックすると、新しいカスタムパッチが Unpatched 列の直後、最初に表示された ユニバース列の横にある DMX Patch ウィンドウに表示されます。

パッチを完了するには、新しいカスタムパッチ列と交差する目的のデバイスポートをダブルクリックし、 [◇ Send]ボタンをクリックして変更をネットワークに送信します。

Device	Subdevice	Subdev #	Assigned	Port Direction	Unpatched	Custom	I
Light Panel 1012	Port B	2	Custom	Output			
0.100.	0.14					13	

◇ カスタムパッチのコピー、編集、削除

カスタムパッチを作成したら、それを変更や、コピーの作成、そのコピーの変更、不要なパッチの削除を行う ことができます。

- 編集 : カスタムパッチ列の任意の場所をクリックし、[Edit Custom]ボタンをクリックします。
 (※ パッチに付けられた名前はすべてボタンに表示されます。)
- コピー:カスタムパッチ列の任意の場所をクリックし、[Copy Custom]ボタンをクリックします。 元の横の新しいパッチ列にパッチのコピーが作成され、名前に(X)が追加されます (X は、作成済みのコピーの数に応じて、1 以上の整数です)。 必要に応じてコピーを編集できます。

削除 : パッチ列の任意の場所をクリックし、[Delete Custom]ボタンをクリックします。

◇ 右クリックメニュー - 新しいユニバースのクイックパッチ

DMX パッチウィンドウには、便利な右クリックメニューがあり、知っておくと便利です。 メニューを表示するには、デバイス/ポートのいずれかの青色/薄い領域を右クリックします。

ilter:				Search:	
Device	Subdevice	Subdev #	Assigned	Port Direction	Unpate
Rack 1011	Port A	1	Univ 2	Output	
Rack 1012	Port A	1		Direction	
Rack 1012	Port B	2	Ur S	tandard Universe	

Port Direction : 指定されたポートの[Port Direction]セルをダブルクリックするのと同じオプション。 オプションは、Disabled、Input、Output です。

Custom : カスタムパッチのリストが表示され、それに応じてそのポートにパッチを適用できます。 多くのカスタムパッチがある場合、水平にスクロールしたくない場合に役立ちます。

Standard Universe : 小さなユニバース選択ウィンドウが開き、新しいユニバースを指定して、その ポートにすぐにパッチを適用できます。

Direction Custom Standard Universe	↓ ↓ ↓ Uni	verse No.		
Input	Univ 1000] ✓	
Output		Entera	a standard unive	erse
Rack Octo	Port A	1	Univ 1000	

複数のポートの右クリックメニュー

上記の右クリックメニューを使用して、複数のポートを一度に変更することもできます。 たとえば、ゲートウェイの8つのポートすべてを出力に変更したり、複数のポートをカスタムまたは新しい ユニバースにパッチしたりできます。

変更する最初のポートをクリックし、Shift キーを押しながらクリックして、隣接するポートの範囲を選択 します(選択したポートは灰色で表示されます)。

Device	Subdevice	Subdev #	Assigned	Port Direction	Unpatched	ι
Rack 1014	B Out to Rig	4	Univ 2	Output		
Rack Octo	Port A	1	Univ 33	Input		
Rack Octo	Port B	2	Univ 2	Output		
Rack Octo	Port C	3	Univ 1	Output		
Rack Octo	Port D	4	Univ 1	Output		
Rack Octo	Port E	5	Univ 1	Output		
Rack Octo	Port F	6	Univ 1	Direction	*	ĺ
Rack Octo	Port G	7	Univ 1	Standard U	niverse 🕨	
Rack Octo	Port H	8	Univ 1	Output		

または、Ctrl キーを押しながらクリックして、隣接していない個々のポートを選択します。

Device	Subdevice	Subdev #	Assigned	Port Direction	Unpatched
Rack 1014	B Out to Rig	4	Univ 2	Output	
Rack Octo	Port A	1	Univ 33	Input	
Rack Octo	Port B	2	Univ 2	Output	
Rack Octo	Port C	3	Univ 1	Output	
Rack Octo	Port D	4	Univ 1	Output	
Rack Octo	Port E	5	Univ 1	Output	
Rack Octo	Port F	6	Univ 1 🕞	Custom	•
Rack Octo	Port G	7	Univ 1	Standard Un	iverse 🕨
Rack Octo	Port H	8	Univ 1	Output	

どちらの場合も、変更を適用する目的のポートを選択し、前述と同じプロセスに従います。

♦ Advanced Patch Editor

より高度なカスタムパッチ編集を行うには、Advanced Editor を使用します。 Patch Editor ウィンドウの下部にある Advanced Editor ボタンをクリックします。

						Add Un	iverse										
	[A	dvance	d Edito	r									
							~	Save		8 E	xit						
Patł	nscape															?	×
niverse	e name:	Custom															_
Out	In	Pr	In	Pr	In	Pr	In	Pr	In	Pr	In	Pr	In	Pr	In	Pr	1
1	1.1	High	2.1	2													1
2	1.2	High	2.2	2													
3	1.3	High	2.3	2													
4	1.4	High	2.4	2													
5	1.5	High	2.5	2													
6	1.6	High	2.6	2													
7	1.7	High	2.7	2													
8	1.8	High	2.8	2													
9	1.9	High	2.9	2													
10	1.10	High	2.10	2													
11	1.11	High	2.11	2													
12	1.12	High	2.12	2													,
	Notation	Comma	nd line:													J Ar	nalv

Advanced Editorを使用すると、チャネルごとに優先度を設定したり、隣接しない範囲または狭い範囲の チャネルなどの特定の範囲のチャネルを構成したりできます。

Advanced Editor ウィンドウにはいくつかの列があり、Out と、In、Pr が順に繰り返されます。

Out: パッチの出力を示します。各チャネルに1から512までの行があります

In:入力ユニバースとチャネルを指定します。(Pr 列と一緒に機能します)

Pr: そのチャネルの優先度レベルを設定します。(同じ行の出力チャネルにパッチされます)

チャネル値を入力する方法はいくつかあります。

入力チャネルと優先順位

手動での値の入力

構成するチャネルが数個しかない場合は、セルをダブルクリックして入力することにより、手動で入力 できます。構文は、"X.Y"です。ここで、X はユニバース番号、Y はチャネル番号です。

チャネルを表示する方法を変更するために、ウィンドウの左下隅に[Dot Notation]チェックボックスが あります。 デフォルトではチェックされており、チャネルを"X.Y"形式で表示します。 ("ユニバース1チャネル1"を入力するには、セルをダブルクリックして[1.1]と入力)

絶対値のチャネル番号(ユニバース1の場合は1~512、ユニバース2の場合は513~1024など)を 表示する場合は、このボックスをオフにします。

フィルチャネル機能の使用

右クリックメニューの下には、"Fill Channel & Priority"と"Fill Channel Gradient & Priority"の2つの "Fill Channel"機能があります。

Fill Channel & Priority	Ctrl+D					
Fill Channel Gradient & Priority	Copies the	top most cl	hannel and	priority to th	e cells sele	ected below it.
Import from CSV						

これらは両方とも、手動で入力することなく複数のチャネルを埋めるのに役立ちます。 これらの両方に、少なくとも1つの既存の値が必要です。たとえば、最初のセルに"1.1"と入力します。

同じチャネルパッチを出力チャネルの範囲に拡張するには、最初のセルを選択し、Shift キーを押しなが らクリックして、セルの範囲を下に選択します。この例では、行 1~10 が選択されています。

Fill Channel & Priority: 最初のセルから値がコピーされ、選択したすべてのセルが同じ値に なります。

Fill Channel Gradient & Priority: 最初のセルから値を各チャネル、1 ずつ増やした値になります。

1 2 3 4	11.121.131.1
	1.1 1.1
	1.1
	1.1
	1.1
	1.1
	1.1
	1.1
	1.1
	1.1
1	1.1 1.1 1.1 el a

Add Universe 機能の使用

ウィンドウの下部にある[Add Universe]ボックスを使用してチャネル範囲を入力することもできます。

Univ 4	÷	High	•	🗸 Add Universe
--------	---	------	---	----------------

これは、基本的に Full Universe Patch Editor ウィンドウと同じように機能します。 上/下矢印を使用 してユニバースを選択するか、テキストフィールドに直接入力して優先度レベルを選択し、 [Add Universe]ボタンをクリックします。

これにより、最初に利用可能な In および Pr 列に、選択したチャネルと優先度の情報が入力されます。

コマンドラインの使用

ウィンドウの下部、[Add Universe]セクションの上にコマンドラインがあります。 これは、単一のコマンドでパッチ全体を作成するために使用できます。

20										~
Dot Notation	Command	line:							🗸 Appl	ly

コマンドラインの構文は次のとおりです。

Output Range AT Input Range [(At Equal Priority/At Next Lowest Priority) Additional Range] 出力範囲 AT 入力範囲 [(同じ優先度/次に低い優先度)追加の範囲]

これは少しわかりにくいかもしれませんが、分解してみましょう。

Output Range(出力範囲): 入力チャネルを割り当てる出力チャネルの範囲 この例では全ユニバースを使用(1-512)

Input Range(入力範囲): 出力チャネルにパッチを適用する入力チャネルの範囲です (「X.Y」形式で、X はユニバース番号、Y はチャネル番号です) この例ではユニバース1を使用し、範囲は 1.1~1.512 になります

AT: 演算子文字である「*」(アスタリスク)

角括弧内の要素はオプションであるため、省略します。コマンドは次のようになります。

1-512 * 1.1-1.512

Enter キーを押すか、[✔ Apply]ボタンをクリックしてコマンドを送信します。次のようになります。

Path:	scape					?	×					
Universe	name: C	Custom (6)							501	1.501	High	
Out	In	Pr	In	Pr	ln	Pr	^		502	1.502	High	
1	1.1	High							503	1.503	High	
2	1.2	High							504	1.504	High	
3	1.3	High							505	1.505	High	
4	1.4	High							506	1.506	High	
5	1.5	High						(途中省略)	507	1.507	High	
6	1.6	High							508	1.508	High	
7	1.7	High							509	1.509	High	
8	1.8	High							510	1.510	High	
9	1.9	High							511	1.5 11	High	
10	1.10	High							512	1.512	High	

コマンドは、In 列の入力チャネルとして 1.1~1.512 を入力し、High の値を Pr 列に入力する必要が あります。

※ コマンド構文が有効な場合、[Command Line]フィールドは緑色で強調表示され、無効な場合は 赤色で強調表示されます。



パッチウィンドウ全体をクリアするには、右下隅の[Clear]ボタンをクリックします。 ウィンドウをクリアして、別のコマンドを試すことができるようにします。

同じコマンドでさらに範囲を追加するには、"+"(プラス記号)か"/"(スラッシュ)文字を使用します。

+:前と同じ優先度で次の範囲のチャネルを追加

/: 次に低い優先度で次の範囲を追加

コマンドは次のようになります。

1-512*1.1-1.512+2.1-2.512/3.1-3.512

パッチウィンドウは次のようになります。

Out	In	Pr	In	Pr	In	Pr		502	1.502	High	2.502	High	3.502	2
1	1.1	High	2.1	High	3.1	2		503	1.503	High	2.503	High	3.503	2
2	1.2	High	2.2	High	3.2	2		504	1.504	High	2.504	High	3.504	2
3	1.3	High	2.3	High	3.3	2		505	1.505	High	2.505	High	3.505	2
4	1.4	High	2.4	High	3.4	2		506	1.506	High	2.506	High	3.506	2
5	1.5	High	2.5	High	3.5	2	(途中省略)	507	1.507	High	2.507	High	3.507	2
6	1.6	High	2.6	High	3.6	2		508	1.508	High	2.508	High	3.508	2
7	1.7	High	2.7	High	3.7	2		509	1.509	High	2.509	High	3.509	2
8	1.8	High	2.8	High	3.8	2		510	1.510	High	2.510	High	3.510	2
•	1.0	- ngn	2.0	i ngn	5.0	-		511	1.511	High	2.511	High	3.511	2
9	1.9	High	2.9	High	3.9	2		512	1.512	High	2.512	High	3.512	2

1 つのコマンドで、高優先度のユニバース 1、チャネル 1~512、同じ(高)優先度のユニバース 2、 チャネル 1~512、および次に低い優先度(2)のユニバース 3、チャネル 1~512 を追加しました。

※ チャネルの全範囲(1-512)を使用する場合、2番目の番号は技術的に必要ありません。 出力範囲 1~512を指定するには、"512"をドロップして"1-"と入力します。 入力範囲についても同じで、"1.1-1.512"と入力する代わりに、"1.1-"と入力するだけです。

1-512*1.1-1.512+2.1-2.512/3.1-3.512 = 1- * 1.1- + 2.1- / 3.1-

コマンドラインを使用して、1~512 未満の範囲のチャネルにパッチを適用する場合は、2 番目の数値 が必要になることに注意してください。 ※ [Command Line]フィールドにカーソルを合わせると、構文のヒントとコマンド例がツールチップ に表示されます。



カスタムパッチを保存するには、ウィンドウの右下隅にある[Save]ボタンをクリックします。 カスタムパッチに名前を付けてください。

変更を破棄して Advanced Patch ウィンドウを終了するには、[Exit]ボタンをクリックします。

便利な右クリックメニュー項目

Advanced Patch Editor では、右クリックメニューに役立つメニュー項目がいくつかあります。 メインチャネルグリッド領域を右クリックして、メニューを表示します。



Delete : 選択したセルがすべて削除されます。 DEL キーを使用することもできます。

Cut: チャネルパッチグリッドの他の場所に貼り付けるために、選択したセルを切り取ります。

Copy: チャネルパッチグリッドの他の場所に貼り付けるために、選択したセルをコピーします。

Paste : 選択したセルから始めて、コピーまたは切り取ったセルの値を貼り付けます。

Fill Channel & Priority / Fill Channel Gradient & Priority : フィルチャンネルの使用セクション参照

Import from CSV...: Pathscape から生成されたコンマ区切り値(CSV)ファイルから値をインポート し、チャネルパッチグリッドに入力します。このアイテムをクリックすると、 ファイルを開くダイアログが表示されます。 CSV ファイルを選択し、[Open]ボタンをクリックします。

Export from CSV...: 現在のチャネルパッチグリッドを CSV ファイルにエクスポートして、別の マシンにインポートします。このアイテムをクリックすると、ファイルの保存 ダイアログが表示されます。 ファイルの名前を入力して、[Save]をクリックします。

Fit Columns to Data : 画面のデータに合わせて列の幅を縮小しようとします。

Select All Rows : すべての行が選択され、すべての行の選択を解除するとそれらの選択が解除 されます。

VIA Switches

🗸 🌄 Online	Rack VIA 10		10.7.162.100	
.		1		Uno
.		2		2-Port
P		3		Quattro
		4		TE
•		5		Entrance NSB
D		6		Port 6
		7		Port 7

\diamond VIA Properties

Basic Priorities

Γ	Basic Properties]
	Device Name Device Notes MAC Address Firmware Version	Rack VIA12 6750 00:04:a1:1e:8d:f3 5.0.7	Identify Device Serial Number Front Panel Lockout LCD Backlight Device Type	PP2002419	
Dev	rice Name : 機 表	器用のユーザー構成のソフ 示されるデバイス名は機器	ハラベル。空白 の IP アドレスに	のままにすると(デフォルト こなります。	では)、
Dev	vice Notes : ラ	うのあよび 074x モナルの前 「バイスビューに表示される	、ユーザーが構	でれます。 成したテキストの説明フィー	ールド
MA	.C Address : ⊐	L場で設定されたハードウェ	アアドレス。読る	み取り専用。	
Firi	mware Version	:現在動作しているファー.	ムウェアのバー	ジョンを表示します。読み耳	なり専用
Ide	ntify Device :	このボックスをチェックする。 (LCD バックライトの点滅、	と、デバイスが調 識別 LED)	戦別動作を開始します	
Sei	rial Number : 그	L場で設定された固有の識	別番号。読み取	り専用	
Fro	nt Panel Lockou	tt : これをチェックすると、 ロックされます(6730ま プロパティを読み取るこ せん。	デバイスのフロ Sよび 674x モデ ことができますた	ントパネルのローカルコント [*] ルのみ)。メニューをスクロ [*] 、プロパティを変更するこ	ヽロールが ۱ールすると、 とはできま
LCE	D Backlight : こ た	これをチェックすると、デバイ こります(6730 および 674x -	「スのフロントパ: モデルのみ)。	ネルの LCD バックライトが	有効に

Device Type: 現在選択されているデバイスのデバイスタイプ。

Network Properties

	Network Propertie	s
	IP Mode	Static 👻
	IP Address	10.7.162.100
	Subnet Mask	255.0.0.0
	Gateway	10.0.0.1
	Quality of Service	Disabled
	Rapid Spanning Tree	
	Network Interface	Ethernet 4
IP Mode :	デバイスの IP	モードを設定します。オプションは、Disabled、Static、Dynamic です。
	Disabled :	このデバイスに IP は割り当てられていません。
	Static : 2	Lーザーが手動で設定した IP 設定。
	Dynamic ·	DHCP サーバーから取得した IP 設定。
	Dynamic .	
IP Address	・このスイッチ	のコーザー設定のインターネットプロトコルアドレス(IPv4)
In Addiese	・ // AN が右	
		がな物日、III) IF レスは アンオル IF C 目空 VLAN ID F に 過用 C 10 よ 9。
Subnet Mar	_ᆇ · ┐_+ヂ┋	と字のサブネットファクー ソル ANI が有効な提合 サブネットファクけ
Subilet Mat	デフェルト	で管理としないになって使用されます
) ////	C官理 VLAN ID # によう C使用されます。
Cataway	割日本ナンカー	- サゴネットめのマドレスを亜ポオるこのスイッチ(またけち効な得合け
Galeway :		- リンネットかりプトレスを安水りるこのスイッテ(よには有効な場合は
	VLAN) LUJA	ットワークトラフィックは、この IP アトレスを引してルーティング されます。
Ouelity of	Counting	
Quality of		°
	Standard ·	・トラノイツクは里み付けアルコリスムを使用してルーティンクされ、 愛先
		度の高いトフノイックをダイムリーに配信し、愛先度の低いトフノイック
	Dante Stric	t ··· Dante 固有の重み付けを使用して、愛先順位が厳密に守られます。
		優先度の低いトラフィックは、Dante の優先度の高いパケットを確実
		に配信するために、ドロップまたは無視される場合があります。
Rapid Spar	nning Tree : R	TP(高速スパニングツリーブロトコル)を有効または無効にします。
	R	STP は、イーサネットループ(ボートが同じ VLAN にある同じ 2 つのスイッ
	チ	間の 2 つの Cat5 ケーブル)を自動的に検出します。 RSTP をオンにしな
	ل `	と、ループのあるネットワークのパフォーマンスは非常に低下します。
Network Int	erface : デバ	イスが Pathscape を実行しているマシンと通信している NIC(ネットワーク
	インタ	ーフェイスカード)の名前を示します。

VLAN Properties

VLAN Support/VLAN Range Start/VLAN Range End/Management VLAN の項目があります。 これらは VIA Device Properties ペインで直接編集できません(灰色で表示されます)。 VLAN Config ウィン ドウの VLAN Global Properties ウィンドウまたは Settings メニューでこれらのパラメータを編集します。 (現在設定されている値はここに表示されています)

Network Protocol Support

Network Protocol Support	
Art-Net Alternate Mapping 🗹	

Art-Net Alternate Mapping : Enabled(デフォルト)

Art-Net Trap & Conver と組み合わせて使用 Enabled … Art-Net ユニバース 0:0 = ユニバース 1 Disabled … Art-Net ユニバース 0:1 = ユニバース 1

Ring Protect Properties

Ring Protect Properties	
Ring Protect Mode	Disable 🔻
Ring Protect Control VLAN	4095
Ring Protect Primary Port	Port 10 🔻
Ring Protect Secondary Port	Port 11 🔹

Ring Protect Mode: **Disabled**(デフォルト) … VIA5 モデルではサポートされていません **Enabled** … EAPS を使用して、VIA スイッチを物理配線リングに接続

Ring Protect Control VLAN : 専用のリング保護 VLAN を指定します。 有効な範囲は 1~4095。 デフォルト(4095)の使用を推奨。 この値は、定義された VLAN Range 外である必要があります。

Ring Protect Secondary Port : モデル 6740、6741、6742 … ポート 11、12、13、14 から選択 モデル 6730 … ポート 9、10、11 から選択 モデル 6716 … ポート 15、16、17、18 から選択
PoE Properties

POE Properties	
PoE External Supply Detected	true
PoE External Supply Power (W)	120

PoE External Supply Detected / PoE 外部電源が検出

VIA スイッチが外部 PoE 電源を検出した場合は true を示し、検出しない場合は false を示します。
 読み取り専用。
 VIA10 スイッチは 60W の内部 PoE を備えていますが、外部 PoE 電源を受け入れることもできます。
 内部電源のみで VIA10 を実行している場合、これは引き続き false として表示され、外部電源フィールドに入力する必要はありません。

PoE External Supply Power(W) / PoE 外部供給電力(W)

: 外部 PoE 電源を接続する場合、スイッチの PoE が正しく機能するように、ワットでの電力定格 をここに入力する必要があります。

PoE Total Drawn(W) / PoE 総消費電力(W)

: すべての PoE 対応ポート全体の合計 PoE 消費電力をワットで表示します。読み取り専用。

Advanced Properties

User ID : 外部データベースのカスタム数値 ID。

VIA Switch サブデバイスは、銅線 RJ45 ポート 🐨 またはファイバーポート ⑪ のいずれかの イーサネットポートです。ポートアイコンの色はリンクステータスと速度を反映しています。 色は、両方のタイプのポートアイコンに適用されます。

Status	Device Name	Subdev #	Subdev Name
• Online	Rack VIA TU	1	Uno
		2	2-Port
•		3	Quattro
₩		4	TE
Icon Color		Statu	s
Grey 🕎	Link Down	(no downstrea	m device connected)
Blue 🕎		1 Gigat	bit
Green 🕎	10	100 Megabit, full or half duplex	
Orange 🕎	10) <mark>Megabit, full</mark> o	r half duplex

選択したスイッチのポートでサポートされているプロパティのみがプロパティペインに表示されます。

Port Properties

Basic Propertie	Basic Properties	
Subdevice Name	Quattro	
Subdevice Notes		
Link Mode	Auto Negotiate	
Link Status	Link Up 100Mbit Full Duplex	
Port Type	Gigabit Capable Copper RJ45	
LLDP Partner	Rack Quattro	
Network Prope	rties	
Forwarding State	Forwarding all traffic	
Bandwidth Percer	ntage 0	

Subdevice Name : サブデバイス/ポートのユーザー構成のソフトラベル。 デバイスビューとスイッチのフロントパネルディスプレイに表示

```
Link Mode : 指定されたポートのリンクモードを設定します。
     Disabled … 実質的にポートをオフにします
     Auto Negotiate (Default) ··· スイッチとエンドデバイス間のやり取りで設定されたリンク速度
     10Mbit Half Duplex
     10Mbit Full Duplex
     100Mbit Half Duplex
     100Mbit Full Duplex
     1Gbit Full Duplex
Link Status : 現在のリンクの状態と速度を報告します。 読み取り専用。
Last Link Change : ポートリンクステータスの最後の変更から経過した時間を表示
              表示形式は X(日)、HH:MM:SS(時間:分:秒)
              ポートが予期せずダウンしたかどうかを判断するための診断またはトラブル
              シューティングの目的で役立ちます。
SFP Module Type : 検出された Small Form Pluggable 光ファイバーアダプターのタイプを表示
              モデル 6740、6742、6730 のポート 11、モデル 6706 のポート 6、モデル 6716
              のポート 17、18 に適用。読み取り専用
Port Type : ポートタイプのレポート。読み取り専用。
             Gigabit Capable SFP Slot
             Gigabit Capable Copper RJ45
             Fast Ethernet Capable Copper RJ45
LLDP Partner/LLDP Partner MAC : Link Layer Discovery Protocol をサポートする接続デバイス
                         の MAC アドレスを報告します。
                         接続されている機器が Pathway 製品の場合、MAC アドレス
                         ではなくその名前が表示されます。読み取り専用。
```

Network Properties

Forwarding State : RSTP や EAPS の状態。読み取り専用。 Forwarding all Traffic …通常の状態 Blocked by RSTP …ループを検出し、ポートをブロックしてフィードバックを停止 Blocked by EAPS … プライマリーポートを使用しているリング

Bandwidth Percentage : リンクモードに基づいて、ポートを通過するトラフィック量をパーセンテージ (0~100%)で表示。数秒ごとに更新されます。 読み取り専用。

VLAN Properties

VLAN Properties			
VLAN Tagged	Untagged	i	•
VLAN	Local (1)		•
Network Protocol Support			
Art-Net Trap a	Art-Net Trap and Convert Enable		
POF Properties			
POE Propert	ies		
POE Propert	es	Enabled	•
POE Properti PoE PoE Status	es	Enabled Class 2 (7 W)	•
POE Properti PoE PoE Status PoE Active Dra	ies ww.(W)	Enabled Class 2 (7 W) 1.51	•
POE Properti PoE PoE Status PoE Active Dra PoE Power Allo	ies w (W) ocation (W)	Enabled Class 2 (7 W) 1.51) 7	T

VLAN Tagged : VLAN が有効になっている場合は、ポートを Tagged/Uplink として設定して、 スイッチ間ですべての VLAN のデータを送信します。 Tagged : スイッチ間を接続するためにのみ使用 Untagged(デフォルト) : ほとんどのアプリケーションでは、エンドデバイスに 接続するために使用されます。

VLAN: ポートが使用する VLAN ID #を設定します。

VLAN が有効になっている場合にのみ、Untagged ポートに適用されます。

Network Protocol Support

Art-Net Trap and Convert Enable
 : Disabled (Default)
 Enabled … 入力されてきた Art-Net ブロードキャストパケットは、最初に送信されたのと同じユニバース番号を使用して E1.31 sACN マルチキャストデータパケットに変換されます。 sACN を使用する大規模なシステムでは、IGMP を有効にしてネットワークトラフィックを削減する必要があります。

PoE Properties

PoE : Enabled (Default) … ポートは、接続されているすべての PoE 対応デバイスへの電力供給 を試みます Disabled … PoE はエンドデバイスに提供されません。

PoE Status : エンドデバイスによって報告される PoE クラス。読み取り専用。 Not Detected (エンドデバイスに PoE 機器が無い) Class 0 (15.4W) Class 1 (5.4W) Class 2 (11.7W) Class 3 (15.4W)

PoE Active Drawn (W): 現在の PoE デバイスの消費電力をワットで表示。 読み取り専用。

PoE Power Allocation (W): エンドデバイスから報告された PoE デバイスの分類に基づいて、 ポートへの電力割り当てを報告します。読み取り専用。

PoE Max Allocation

: ポートに割り当てられる電力を設定します。
 スイッチが使用可能な残りの PoE 電力プールを決定できるようにしますが、エンドデバイスがこの値を超える電力を要求して利用することを妨げません。
 値は、900mW、1.8W、2.7W、3.6W、4.5W、5.4W、6.3W、7.2W、8.1W、9W、9.9W、10.8W、11.7W、12.6W、13.5W、14.4W および 15.4W です。

Pathport Gateways

選択したゲートウェイのポートでサポートされているプロパティのみがプロパティペインに表示されます。

Pathport Properties

Basic Properties

Basic Properties	F			
Device Name	Rack Quattro	Front Panel Lockout	t 🗌	
Device Notes	Rolling Rack	LCD Backlight		
MAC Address	00:04:a1:1e:85:a4	LLDP Partner	Rack Bottom	
Firmware Version	5.0.5.8	LLDP Partner MAC	00:04:a1:07:a2:7b	
Identify Device		LLDP Partner Port	9	
Serial Number	PP2000292	Device Type	Pathport QUATTRO	

Device Name : ゲートウェイのユーザー構成のソフトラベル。空白のままにすると(デフォルトでは) 表示されるデバイス名はデバイスの IP アドレスになります。 デバイスウィンドウとゲートウェイフロントディスプレイに表示されます。

Device Notes : デバイスビューに表示される、ユーザーが構成したテキストの説明フィールド。

MAC Address : 工場で設定されたハードウェアアドレス。読み取り専用。

Firmware Version : 現在動作しているファームウェアのバージョンを表示します。読み取り専用。

Identify Device : このボックスをチェックすると、デバイスが識別動作を開始します (LCD バックライトの点滅、識別 LED)。

Serial Number : 工場で設定された固有の識別番号。読み取り専用。

LED Intensity: UNO / 6821/1011(1 ポートゲートウェイ)モデルのみ。 インジケーターLED の明るさを設定します。 値は Dim または Bright です。

- Front Panel Lockout : これをチェックすると、デバイスのフロントパネルのローカルコントロールが ロックされます。メニューをスクロールすると、プロパティを読み取ることが できますが、プロパティを変更することはできません。
- LCD Backlight : これをチェックすると、デバイスのフロントパネルの LCD バックライトが有効になります。

Device Type: 現在選択されているデバイスのデバイスタイプ。

Network Properties

IP Address	10.6.27.72	
Subnet Mask	255.0.0.0	
Gateway	10.0.0.1	

BootP Enabled : C シリーズおよび UNO / 6821/1011 モデルのみ。 機器が Static IP アドレスを使用する(disabled)か、VIA スイッチの BootP (DHCP と同様)サーバーから動的 IP を取得する(Enabled)かを構成します。 デフォルトは disabled(無効)

IP Address : ゲートウェイのインターネットプロトコルアドレス(IPv4)。

Subnet Mask : ユーザー設定のサブネットマスク。通常は 255.255.255.0。 一般的なネットワークルールに従って設定する必要があります。

Gateway: ゲートウェイではほとんど使用されません。

Network Interface : デバイスが Pathscape を実行しているマシンと通信している NIC(ネットワーク インターフェイスカード)の名前を示します。

Network Protocol Support

Network Protocol Suppor	t
Allow Unsecure	
Receive Art-Net	
Receive E1.31 sACN	
E1.31 sACN Receive Priority	Enabled 🔻
Receive Pathport Protocol	
Receive Shownet	
Transmit Network Protocol	E1.31 (Streaming ACN) 🔻
Advanced Properties	
E1.31 sACN Transmit Version	ANSI Final Release
User ID	0

Allow Unsecure

: sACN、Pathport、Art-Net、Shownet などの安全でないネットワークプロトコルを使用するには このチェックボックスを有効にする必要があります。

オンにすると、ウィンドウが表示され、安全でないネットワークプロトコルの使用に関連する リスクを受け入れるように求められます。

🔀 Setti	ng Unsecured Protocols	х
	You are enabling an open protocol that does not use encryption or authentication. This protocol could be eavesdropped or spoofed by malicious parties. You are strongly encouraged to secure access to your network, both physically and technologically. To continue, you must acknowledge that you have read this statement and that you accept these risks. Do you wish to continue?	1
	Yes No	

Receive Protocol

: 受信するプロトコルを決定するために 4 つのプロパティが存在し、出カポートに反映されます (ゲートウェイ上のポートが出力として構成されている場合) DMX パッチウィンドウで定義された出カポートにパッチされます。 サポートされている 4 つのイーサネットプロトコルは、Art-Net、sACN、Pathport Protocol、 ShowNet で、該当するものをチェックします。(4 つすべての受信は有効)

E1.31 sACN Receive Priority

このオプションはデフォルトで有効になっており、プロトコルに埋め込まれた Priority タグに基づいて出力されるコントローラーのレベルを調整します。
 同じ優先度の、異なるコントローラーからの複数の着信パケットは HTP(Highest Takes Precedence)でマージします。異なる場合は優先度の高いものを出力します。
 推奨されるデフォルトの Priority Controllers の出力は 100 です。
 有効な優先度は 1~200 で、200 が最も高い優先度です。
 この機能を無効にすると、パケットの Prioeiry タグが完全に無視されます。

Transmit Network Protocol

: ゲートウェイに入力設定したポートがある場合、受信した DMX512 はこのプロトコルを使用して ネットワークに配信されます。 サポートされている 4 つのイーサネットプロトコルは、Pathport、 Art-Net、Strand ShowNet、sACN です。

E1.31 sACN Transmit Version

: **Pre-release Draft 20** または **ANSI Final Release** (default)。送信プロトコルが E1.31 sACN に 設定されている場合にのみ使用できます。

Advanced Properties

Patch Jumper Locked

: UNO / 6821/1011 1 ポートゲートウェイモデルのみ。ユニバースパッチを手動で選択するためのボード上の DIP スイッチのステータスを表示します。 True は、ジャンパーが設定されていることを示します。 false は、パッチのソフトウェア構成を許可します。

User ID: 外部データベースのカスタム数値 ID。

♦ Pathport Port Properties

Pathport Gateway サブデバイスは DMX ポートです。ゲートウェイには 1~8 個のポートがあります。ポート の方向は、入力(DMX512を受信して xDMX をネットワークに配置)または出力(xDMX を、サポートされている 4 つのプロトコルのいずれかから DMX512 に変換)のいずれかです。出力ポートは、RDM コントローラーとし て構成することもできます。ポートの方向に基づくプロパティの 2 つのテーブルがあります。

Status	Device Type	Subdev #	Subdev Name
🗸 😻 Online	Pathport OCTO		
		A	Port A
۲		В	Port B
		С	Port C
		D	Port D

◇ Output ポートのプロパティ

Basic Properties	
Subdevice Name Port	В
Subdevice Notes A	
DMX Port	
DMX512 Enable	Enabled 🔻
Port Direction	Output 🔻
DMX512 Status	Active
Output Patch Name	Univ 2
DMX512 Output Speed	Maximum 🔻
Crossfade Enable	

Basic Properties

Subdevice Name

: ユーザーが構成したポートのソフトラベル。デフォルトは、ゲートウェイ上のポートの数に 基づいて、ポートに A~H のラベルが付けられます。DMX512 ケーブルの接続先または その機能に基づいてポートにラベルを付けることを推奨します。

Subdevice Name : 装備されている場合は、デバイスウィンドウと Gateway のフロントディスプレイに 表示されるユーザー構成のテキスト説明フィールド。

DMX Port

DMX512 Enable : デバッグなどの目的で、DMX ポートを無効にすることができます。 他のすべての プロパティは変更されません。 DMX512 ケーブルを抜くことと電気的に同等です。
Port Direction : Input または Output。この表は、出力ポートのプロパティを示しています。
DMX512 Status : DMX512 ポートの動作状態を表示します。DMX512 をアクティブに送信している 場合は Active と表示し、そうでない場合は Inactive と表示します。 読み取り専用。
Output Patch Name : DMX パッチの名称を表示。このペインでは読み取り専用です。
DMX512 Output Speed : DMX 出力時の更新回数を設定します。 値は、Maximum(42 Hz)、Fast、Medium、Slow(30 Hz)です。
Crossfade Enable : Pathscape DMX Patch Priority または E1.31 sACN Priority で定義されている ようにプライオリティが変更されると、ゲートウェイは新しいレベルにスナップす るのではなくフェードします。 古いソースの最後のフレームは、フェード中にフリーズします。
Crossfade Time (S)・ 上記の Crossfade Enable で定義した クロスフェード時間を設定します。

Network Protocol Support

Network Protocol Support	
xDMX Status Active E1.31 sACN Per-Channel Priority	xDMX Loss Fade xDMX Loss Fade Time (s) 5.000 xDMX Loss Port Shutdown
Signal Loss xDMX Loss Hold Forever xDMX Loss Hold Time (s) 5.000	RDM Properties E1.20 RDM Enable E1.20 RDM Background Discovery

xDMX Status : この出力ポートの xDMX ソースの状態を表示します。 xDMX ストリームが存在する 場合は Active と表示され、 xDMX ストリームが失われると Inactive と表示されます。

E1.31 sACN Per-Channel Priority

: ゲートウェイ DMX プロパティには、ゲートウェイがユニバースヘッダーの優先度(1~200)に準 規するかどうかを決定する sACN 入力優先度があります。 このプロパティは、それをユニバ ースの各スロットに拡張します。 デフォルトではオフになっています。

Signal Loss

xDMX Loss Hold Forever

: Enabled の場合、DMX 出力ポートは、xDMX 信号が失われた場合に、最後に受信したパケット を無期限に出力し続けます。

(Signal Loss Hold Time、Signal Loss Fade、Signal Loss Port Shutdown は無視されます)

xDMX Loss Hold Time (s)

: Signal Loss Fade または Signal Loss Port Shutdown が有効な場合、ポートは、この時間が 経過するまで、受信した最後のパケットを出力し続けます。

xDMX Loss Fade

: xDMX ストリームが停止すると、DMX512の 512 スロットすべてが 0%の値にフェードします。

xDMX Loss Fade Time (s): Signal Loss Fade が有効な場合に適用されます。 上記の xDMX Loss Fade が発生する時間を定義します。

xDMX Loss Port Shutdown

: xDMX ストリームが停止し、Signal Loss Hold Forever が無効で、Signal Loss Fade Time の時 間が過ぎると、ポートは OFF になります。 DMX512 ケーブルを抜くことと電気的に同等です。 これはデフォルトで有効になっています。

RDM Properties

Pathscapeは、RDM 機器を識別し、モードや開始アドレスなどのプロパティを設定できる非常に強力な RDM コントローラーです。

E1.20 RDM Enable : Enabled (Default) Disabled … DMX リンクで Alternate Start Code パケットは送信されません。 (RDM に準拠していない機器は、RDM パケットに正しく反応しない場合がある)

E1.20 RDM Background Discovery

: このポートの RDM デバイスの数に応じて、検出には 1 秒から数分かかることがあります。 バックグラウンド検出をオンにすると、ゲートウェイはどのデバイスがオンラインかオフラインか を最新のリストに保つことができます。

RDM Device Count : 選択した DMX ポートで検出された RDM デバイスの数を表示。読み取り専用

♦ Input Port Properties

Subdevice Name Port A					
Subdevice Notes A					
DMX Port					
DMX512 Enable	Enabled 🔻				
Port Direction	Input 🔻				
DMX512 Status	Inactive				
xDMX Transmit Universe	33				

Basic Properties

Subdevice Name

: ユーザーが構成したポートのソフトラベル。 デフォルトでは、ゲートウェイのポート数に基づいて、ポートにA~Hのラベルが付けられます。 DMX512 ケーブルの接続元に基づいてポートにラベルを付けることを推奨します。

Subdevice Notes : 装備されている場合、Device ウィンドウとゲートウェイの前面に表示される ユーザー構成のテキスト説明フィールド。 DMX512 Enable : デバッグなどの目的で、DMX ポートを無効にすることができます。 他のすべてのプロパティは変更されません。 DMX512 ケーブルを抜くことと電気的に同等です。
Port Direction : Input または Output。この表は、入力ポートのプロパティを示しています。
DMX512 Status : Active の場合、DMX512 の有効なソースがゲートウェイに入力しています。 読み取り専用。
xDMX Transmit Universe : ポートがネットワーク経由で xDMX を出力するように設定されている ネットワーク送信ユニバース番号を示します。

Network Protocol Support

Network Protocol Support		
xDMX Status	Inactive	Signal Loss
E1.31 sACN Transmit Priority Slot	0 (Disabled)	Input DMX512 Loss Hold Time (s) 0.000
E1.31 sACN Default Transmit Priority	100	

xDMX Status : これと上記の DMX512 ステータスの違いを Maurits に確認してください

E1.31 sACN Default Transmit Property

: DMX512 がネットワーク上に E1.31 sACN として配信されている場合、DMX Patch ウィンドウで 定義されたパッチに従って、有効な優先度が必要です。 出力ポートでは、優先度が一致する 場合、異なる入力ポートからの複数のソースが HTP レベルでマージされ、そうでない場合は調 整します。 デフォルトの優先順位は 100 です。有効な優先順位は 1~200 で、200 が可能な最 高の優先順位です。

E1.31 sACN Transmit Priority Slot

: 上記のように、送信元からの 512 スロットの 1 つを割り当てて、送信優先度を設定できます。 d200 の値(約 78%)は優先度 200 に変換されます。ゼロ値は優先度 1 に変換されます。 優先度は E1.31 で最も低くなります。

<u>Signal Loss</u>

Input DMX512 Loss Hold Time (s)

: DMX512 ソースが停止すると、xDMX は、ゲートウェイが受信した最後のパケットからこの タイマーが期限切れになるまでのレベルを使用して、ネットワークに更新され続けます。 SixEye はクラウドベースのリモート管理サービスであり、一部の Pathway 製品(現時点では、ハードウェア更新 バージョンの OCTO、QUATTRO、6824 4 ポートゲートウェイ、VIA16、およびビネットクロック)で利用可能で、 今後さらに追加される予定です。

SixEye はいくつかの製品ファミリーで利用できるため、そのプロパティはここに個別にリストされます。

Remote Monitoring and Management Properties

Remote Monito	oring and Management
SixEye Provision	SixEye Provision
SixEve Status	Connected

機器を SixEye リモート管理ポータルに接続するには、ポータルにログインして Add Device を選択します。 名前を付けると、その新しいデバイスの SixEye デバイスキーを受け取ります。

Name FOH Switch Cancel Submit Add device Submit Please upload this key to your device to add it to this project. For help with uploading the key, please consult the device manufacturer's documentation. Dytek NU Submit Submit		Add devi	ice
Cancel Submit Add device Submit Please upload this key to your device to add it to this project. For help with uploading the key, please consult the device manufacturer's documentation. Device key Systematic Color and C		Name	FOH Switch
Add device Please upload this key to your device to add it to this project. For help with uploading the key, please consult the device manufacturer's documentation. Device key wy3dexALICJIXV10j1LCJJhbGc10j3IU2T1Nij39, eyy3jb21wYH55X22kTj01JT1X000VjNDAE8#IKH100VZH5LHJKNBCTHE12YTHK0T97 NY3deXALICJIXV10j1LCJJhbGc10j3IU2T1Nij39, eyy3jb21wYH55X22kTj01JT1X000VjNDAE8#IKH100VZH5LHJKNBCTHE12YTHK0T97 NY3deXALICJIXV10j1LCJJhbGc10j3IU2T1Nij39, eyy3jb21wYH55X22kTj01JT1X100VjNDAE8#IKH100YZH5LHJKNBCTHE12YTHK0T97 NY3deXALICJBSVaNJ dirfyZrd0yNaVJN3UMH0XNAZLICJBb21wYH75X2CUD13T1X100VjNDAE8#IKH100YZH5LHJKNBCTHE12YTHK0T97 NY3deXALICJBSVaNJ dirfyZrd0yNaVJN3UMH0XNAZLICJBb21wYH75X2CUD13T3720, WedGYPE0MKH1T4307PTNB0x8C05N7 BHUC100gWH0X10JHY17H10LCGWYZWYH805JJFNHKNB5ZH1EXJ50VWH1T5YS10H012T0520, WedGYPE0MKH1T4307PTNEH0N3250, WedGYPE0MKH1T4307PTNEH0N3250, WedGYPE0MKH1T4307FFNHC0N33750, WedGYPE0MKH1T4307FFNHC0N33750, WedGYPE0MKH1T4307FFNHC0N33750, WedGYPE0MKH1T4307FFNHC0N33750, WedGYPE0MKH1T4300FFFNHKNB1350, WedGYPE0MKH1T4307FFS1H0013177*, eu-west-2_12pfxYa10 Copy to clipboard Image: Copy to clipboard Image: Copy to clipboard			Cancel Submit
Please upload this key to your device to add it to this project. For help with uploading the key, please consult the device manufacturer's documentation. Device key ey30eXALOIJTKV1QILCJhbdcIOIJTUEI1NIJ9.ey3Jb21wYH55X21kIjoIITJKODVJKDAEB#IKHIO0Y2H5LHJKNEcH#I2YTHKOTgr NWYJIXWICHJWWWYJ#F9pCICINNJWFXENQZHQJMMATKMELSIINDP#JTAIIOTY2H0CH2H7INJG0Y2H5LHJKNEcH#I2YTHKOTgr NWYJIXWICHJWWWYJ#F9pCICINNJWFXENQZHQJMMATKMELSIINDP#JTAIIOTY2H0CH2H7INJG0Y2H5LHJKNEcH#I2YTHKOTgr NWYJIXWICHJWWYJ93021CTJC0JHKIJGJCHADSAEJJG0JTXEDJGDYZH5LHJKHIO0Y2H5LHJKNECH#I2YTHKOTgr NWYJIXWICHJWWYJ9302094VIJJ0JC0094VIJ0JJCD04H7J047K105J2H7IXLHJJKNECHMIJITIIOOQ2AFJNYIEJMJTHJC0H4Y4U00H7IJTTIIOTY2H0KKCOSH BMJTUJOGGAHTY0N2JHYJIBINJICGHY4U2H5JJAMATKAEJJJENJKKZGSH BMJTUJOGGAHTY0N2JHYJIBINJICGHAY4ZUEH55JJENTWKZZSWIZXHWJJOXNTY5NECONDISCO.HeddVFPUDUHP4ra0kP4vEONEJW7J RMU591Iz01U41UJ34930aB=bd35=4bD6=9532=71Bd5B534dd7.CBINFY5KVd0JIZN7*.eu-West=2_I2pExTAI0 Copy to clipboard	Add device		
Device key sysbexAlGIJXVIQILCJhbdciOiJIUHIINJ9.eyJjb2lwYW55X2lkIjOIHTJKODVJNDAEZmEkHiOOY2M5LWJKNHeHHIIZYTHKOTGJ NWYJILWICHJWANYJd9pACIEINKJMYKRNHQILWQJNGAENGLESILDDPHLTAIJTEIDOGYHENYIEINJJEANJUHI jBINIOSOBNALTOJNIZIEVTIYZCOYNAVINJOHNOVNIKALLCJABZGHYZEYAZRIAHJIYZEJAGIGIIDUNGYZM5LWJENGUNIKADJTENDAGNIJATU BUNIOSQUMEYONZJNYYHIJJOLOGNYZVEMSOJJDATNARZBWILXMIJONNYYSNaCHOJZOLMOHYTANDKEVECHNJY BUNIOSJILZGIU4IUJ4990889-bd35-4b06-9532-718d68b34dd7.Cml%Y5&Vd0JZn7f.eu-west-2_12pIxYAIO Copy to clipboard	Please upload this documentation.	key to your device to add	It to this project. For help with uploading the key, please consult the device manufacturer's
eyJdeXAlGIJXVIQILCJhbGclOIJIUmIINIJ9.eyJjb2lwYW55X2lkIjGIBTJKOVjNDAEBmEKHIO0Y2M5LwJKNacHHIIZYTHKOTg NWYJIWICHJwawYddY9pCIGIMEJWYKNNQCIAQJXGAENGALSJINDYmLTAITTEJODQYZmEINYIGIANJYWFObJJEANGIOIINDUY JENIGSODSATCJOSZICTTYJCOYNAUNIKJONGVNAALLGJADADQYZEXEYJALMIJYCYDACGISTUSYTEINYGIGIJUTUNDY HELTUIOGQANTYONZJNYYIBIDJCGXhYZVEINSOIjpATNAZEGWIEXbWIJGXNTY5NzcONDIJGO.WEGGYFEUDUNHFEN&KP4VECNEJNTY RNUC59IIzGIU4IUJ34990a89-bd35-4b06-9532-710d68b34dd7.CslWY5&Vd0IZn7f.eu-west-2_12pExtal0	Device key		
	eyJ0eXAIOIJKVI NWVjIiwicHJvan jBiMI050DNaLT(BaLTUI000xHTV(BHUC5911zG104)	QILCJhbGGIOIJIUZI WjdP9pZCI6InNjMTki J3N2ILYTIyZCOyMZVIJ NN2JhYYIAINJIGGANY U.J4990a89-bdJ5-41	INIJ9.eyJjb2lvYH55X2lkijoiITJKOOVJNDAtEmEkHIOY2H5LMJkHxcHmIIZYTHKOTgr NNJOILAQJNGHENGRIESIINDBMINIITRIODOYZMEIHYJEINHYZHFODJJEMQIGIINDOYA SJOHNGYKRZAILCJab2dpYIESZRIdmljEV9pICIGINOSHTUAGHNIITGJOTYLNDGXECOSHT VERMSGIJEMTKWEZSKIZKWAJGOXHTYSMEGKDI3GQ.WHGUYFEUDUNGYERGKAVEGNEJHTJ b06-9532-710d60b34dd7.Cs1%FY5%Vd012n7*.eu-west-2_12pIXYmiQ
	Copy to clipbo	ard (2)	
A CASE			X Close

[Copy to Clipboard]ボタンをクリックして、デバイスキーをシステムのクリップボードにコピーします。

SixEye Provision	こうしょうすると Sixl	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	vision ط.	ィンドウが開きます。
このフィール	ドに、以前にコピー	したデバ	イスキー	-を貼り付け、Provision をクリックします。
				r
	Pathscape	?	×	
	Paste SixEve Provisio	on here		
	1			
	2n7*.eu-west-2_l2p	zXYaio0		
	Provision	Cano	cel	

SixEye Status : これは、SixEye 接続の状態を示しています。 Unprovisioned (default)

> No Internet Connection … 機器がインターネット接続を見つけることに問題 があります。デバイスの IP 設定を確認します。

> DNS Failure … デバイスは接続を検出しましたが、DNS に問題があります。 デバイスの IP 設定を確認します。

Invalid System Time : 機器はインターネットに接続されていますが、 システム時刻に問題があります。 機器の NTP サーバー設定を確認します。

SixEye Init Error : 機器は、SixEye との接続を開始できませんでした。

Not Connected : 機器は現在 SixEye に接続されていません。

Connected : 機器は SixEye に接続されています。

[VLAN Config]タブを使用して、ネットワーク VLAN を構成します。

VLAN (Virtual Local Area Network / 仮想ローカルエリアネットワーク)は、同じ VLAN 番号のポート同じでは データ通信を行うが、異なる VLAN 番号のポートにはおこなわない、スイッチ上のポートのグループです。 VLAN が確立されると、すべての VLAN トラフィックを通過させるために、スイッチ間を接続するポートは "tagged"にする必要があります。

LAN Co	nfiguratio		💂 VLAN Global Properties
VLAN #	VLAN ID	Device	
> 1	Local		
> 2	Office		
> 3	Audio		
> 4	Video		
> 5	Lighting		
> 6	VLAN 6		
> 7	VLAN 7		
> 8	VLAN 8		
> 9	VLAN 9		
> 10	VLAN 10		

VLAN Configuration ウィンドウには、VLAN#、VLAN ID、Device の3つの 列があります。

デフォルトでは、VLAN ID"VLAN 1"、"VLAN 2"などのラベルが付けられ ます。

~	3	Audio	
			Rack VIA5
5	4	Video	
۷	5	Lighting	
			Rack VIA5
			Wall VIA16
			Desk VIA 12
			Rack VIA 10

各 VLAN の横にある矢印をクリックして、構成に使用できる機器(VIA スイッチ)を表示します。

※ ネットワーク上のすべての VIA スイッチが、リストされているすべての VLAN の下に表示されます。 VLAN Ranges はグローバルに構成されます。 このウィンドウでは、スイッチを1つの VLAN にのみ割り当てることはできません。 サブデバイス/ポートレベルでは、必要に応じて VLAN を割り当てることができます。

IP アドレス、DHCP、IGMP 設定などの VLAN プロパティは、スイッチごとに VLAN ごとに構成されます。

VLAN プロパティについては以下で説明します。

VLAN Global Properties

VLAN を使用するには、VLAN Global Properties で VLAN Support を有効にする必要があります。 これには、ウィンドウの右上隅にある VLAN Global Properties ボタンをクリックしてアクセスします。

VLAN Global Properties ウィンドウには、VLAN Names パネルと Advanced Properties パネルの2つのセクションがあります。それぞれのパネルの▽を押すと、項目が表示されます。

VLAN Names パネル : 使用可能な VLAN の名前を編集できます。

VLAN 名をダブルクリックして編集し、[Commit]ボタンをクリックします。

Edit VLAN Names	Edit VLAN Names					
VLAN ID	VLAN Name]				
1	Local					
2	Office					
3	Audio					
4	Video					
5	Lighting					
6	VLAN 6					

その後、Transaction Editor にいくつかのトランザクションが表示され、自動的に送信されます。 変更を破棄する場合は、[Cancel]ボタンをクリックしてください。

Advanced Properties パネル : VLAN Range、Management VLAN、VLAN Support のオンとオフを

グローバルに設定できます。

 Advanced Properties 	
VLAN Suport:	Enabled 🔻
VLAN Range Start:	1
VLAN Range End:	10
Management VLAN ID:	1

※警告※

これらの Global VLAN Properties のいずれかを変更すると、接続が失われる可能性があります。 その場合、Pathscape を使用してこれらの機器のプロパティを設定できなくなります。

VLAN Support : ドロップダウンメニューで VLAN を有効または無効にできます。

VLAN Range Start / VLAN Range End

: 使用可能な VLAN ID の範囲を決定します。デフォルトはそれぞれ 1 と 10 です。 変更したい場合は、数値を入力し、[Commit]ボタンをクリックしてください。 Transaction Editor にいくつかのトランザクションが表示され、自動的に送信されます。 変更を破棄する場合は、[Clear]ボタンをクリックしてください。

Management VLAN ID

: スイッチを管理するプロセッサが使用する VLAN を設定します。(デフォルトは 1)
 Management VLAN ID は、VLANRange Start と同じ値に設定します。
 Management VLAN がスイッチの少なくとも 1 つの[Normal/Untagged]ポートで使用するようにしてください。そうしないと、スイッチを構成する機能が失われる可能性があります。

♦ VLAN Properties/Service

これらのサービスを構成する前に、VLAN を有効にする必要があります。 VLAN Enable/Disable プロパティは、 VLAN Config ウィンドウの VLAN Global Properties ウィンドウまたは設定メニューの下にあります。

Network Pro	operties					
IP Mode	Static		•			
IP Address	10.7.201.14	10.7.201.142				
Subnet Mask	255.0.0.0	255.0.0.0				
Gateway	10.0.0.1					
DHCP Serve	r	Enabled	•			
DHCP Server	Range Start	0.0.0.0				
DHCP Server	Range End	0.0.0.0				
IGMP						
IGMP Querier						
-						

Network Properties

IP Mode Disabled : この VIA によってこの VLAN に割り当てられた IP はありません Static : ユーザーが手動で設定した IP 設定(VLAN ID#1 / Management VLAN のデフォルト) この VLAN で DHCP または IGMP、あるいはその両方を有効にする場合は、Static IP アドレスを設定する必要があります。 Dynamic : DHCP サーバーから取得した IP 設定。 IP Address : このスイッチのユーザー構成のインターネットプロトコルアドレス(IPv4)。 Subnet Mask : VLAN に適用されるユーザー構成のサブネットマスク。 Gateway : 割り当てられたサブネット外のアドレスを要求するこの VLAN 上のネットワークトラフィッ クは、この IP アドレスを介してルーティングされます。

DHCP Properties

DHCP Server : Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) / 動的ホスト構成プロトコル
 Disabled (Default)
 Enabled : 特定の VLAN 上の 1 つのスイッチのみがアクティブな DHCP サービスを持つこ
 とができ、その VLAN 自体に Static IP が必要です。 複数の VLAN を持つ 1 つ
 のスイッチに複数の DHCP サーバーが存在する場合があります。
 DHCP Server Range Start : DHCP プールに開始 IP アドレスを設定します。 プールは、サーバー
 の IP アドレスよりも高いアドレスで開始する必要があります。
 DHCP Server Range End : DHCP プールで最後に使用可能な IP アドレスを設定します。 IP /サブ
 ホットマスクの範囲内の最後の有効な IP 値を超えることはできません。

IGMP Properties

Intergroup Management Protocol(IGMP) /グループ間管理プロトコルにより、マルチキャストグループに 基づいたスイッチによるパケットのフィルタリングと転送が可能になります。 sACN を使用するネットワークは、ゲートウェイへのリンク上のトラフィックを、ゲートウェイがリッスンする ように構成されている xDMX ユニバースだけに減らすことで、IGMP を最大限に活用できます。

IGMP Querier

Disabled (Default)

Enabled : マルチキャストグループアドレスへのエンドデバイスのサブスクリプションに基づい て、スイッチが転送テーブルを照会および構築できるようにします。 (エンドデバイスのユニバースを調べて、転送用のテーブルを作成) クエリアは、IGMP ルーティングを使用する特定の VLAN でアクティブである必要が あります。ただし、信頼性の理由から、2 つ以上にすることを推奨します。

IGMP Snooping

Disabled (Default)

Enabled : スイッチが、クエリアによって作成された IGMP 転送テーブルに従ってマルチキャス トデータパケットを転送できるようにします。 IGMP クエリアとして機能するスイッチを含め、IGMP を使用する VLAN 上のすべて のスイッチでスヌーピングを有効にする必要があります。

■ 機器のファームウェアの更新

Pathscape は、ほぼすべての Pathway 製品のファームウェアを更新できます。 最新のファームウェアファイルは、 通常、ソフトウェアの最新リリースに含まれています。

Firmware Update ウィンドウを開くには、ツールメニューをクリックし、Firmware...メニューを選択します。

	Data Scope , 👯 Virtual Con	sole		entify New	v Snapshot New Zone		
	Discover Al	II RDM	Select	Filter:	a firmware update.		
Firmware Update	N			.		1	>
LAPS/ SCIP	IVDE	IP AMPRESS	Lurrent	Latest Selecto	ed Plessade	Progress	
Desk Rack 2-Port	Pathport C-Series	10.0.32.189	4.1.1	43.3 43.3	Up to date.		
Desk Rack 2-Port	Pathport C. Series Pathport 1-Port (eDIN/UNO)	10.0.32.189	4.1.1 4.1.1	4.1.1 4.1.1	Up to date. Up to date.		
Desk Rack 2-Port	Pathport C-Series Pathport 1-Port (eDIN/UNO) Pathport 2-Port, eDIN	10.0.32.189 10.4.194.20 10.0.79.235	4.1.1 4.1.1 4.1.1	4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.1.3	Up to dute. Up to dute. Up to dute.		
Desk Rack 2-Port	Pathport C-Series Pathport 1-Port (eDIN/UNO) Pathport 2-Port, eDIN Pathport 4-Port, eDIN	10.0.32.189 10.4.194.20 10.0.79.235 10.1.143.13	4.1.3 4.1.3 4.1.3 4.1.3	4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.1.3	Up to date. Up to date. Up to date. Up to date.		
Desk Rack 2-Port Desk Rack 1011 Desk Rack 1012 Desk Rack 1014 Desk Rack Clock	Pathport C-Series Pathport 1-Port (eDIN/UNO) Pathport 2-Port, eDIN Pathport 2-Port, eDIN Vignette Clock	10.0.32.189 10.4.194.20 10.0.79.235 10.1.143.13 10.61.9.44	4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.0.2.0	4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.1.3 4.3.3 4.0.1,4	Up to date. Up to date. Up to date. Up to date. Letest version available is older than current.		
	Pathport C-Series Pathport 1-Port (eDIN/UNO) Pathport 2-Port, eDIN Pathport 4-Port, eDIN Vignette Clock Pathport OCTO	10.0.32.189 10.4.194.20 10.0.79.235 10.1.143.13 10.61.9.44 10.6.27.72	4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.0.2.0 4.1.1	4.3.3 4.3.3 4.3.3 4.3.3 4.3.3 4.0.3.4 4.0.3.4 4.3.3	Up to dute. Up to date. Up to date. Up to date. Latest version available is older than current. Up to date.		
Cleak Rack 2: Port Cleak Rack 1011 Cleak Rack 1012 Cleak Rack 1012 Cleak Rack 1014 Cleak Rack 1014 Cleak Rack Clock Cleak Rack Clock Cleak Rack Coto Cleak Rack Coto Cleak Rack Quettro	Puthport C-Series Pathport 1-Port (eDIN/UNO) Pathport 2-Port, eDIN Pathport 2-Port, eDIN Vignette Clock Pathport OCTO Pathport OCTO Pathport QUATTRO	10.0.32.189 10.4.194.20 10.0.79.235 10.1.143.13 10.61.9.44 10.6.27.72 10.1.139.227	4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.1.1 4.0.2.0 4.1.1 4.1.1	43.3 43.3 43.3 4.1.3 4.3.3 4.0.1.4 4.3.1 4.3.3	Up to date. Up to date. Up to date. Up to date. Latest version available is older than current. Up to date. Up to date.		

[Firmware Update]ウィンドウには、Device、Type、IP Address、Current(現在)、Latest(最新)、Selected、 Message、Progress(進捗状況)などの列があります。

Device 列には、オンラインデバイスが一覧表示され、次の列にデバイスの種類と IP アドレスが表示されます。

Current、Latest、Selected 列は、その機器のファームウェアバージョンを示します。 Current : 機器の現在のファームウェアバージョンが表示 Latest : Pathscape で利用可能な最新バージョンが表示 Selected : 現在選択されているファームウェアファイルのバージョン番号が表示

メッセージ列には、現在のデバイスに関する情報が表示されます。

Up to Date : 最新 Newer version available : 利用可能な最新バージョン Latest version available is older than current : 利用可能な最新バージョンは現在より古い No firmware available : 利用可能なファームウェアがありません

アップグレード中は、"Firmware Update in Progress (ファームウェアの更新中)"と"Transferring to <Device Name> (<デバイス名>に転送中)"と表示され、"<Device Name> is restarting (<デバイス名>を再起動しています)"などの状況の更新が表示されます。

ファームウェアのアップグレードの進行中は、Progress 列に緑色の進行状況バーが表示されます。 アクティビティがない場合は灰色になります。

◇ 機器のアップデート

利用可能な最新のファームウェアバージョンでアップグレードするデバイスをクリックして選択し、 [Select Latest]ボタンをクリックします。新しいバージョン番号が Selected 列に入力されます。

Device	Туре	IP Address	Current	Latest	Selected	Message
😸 Desk Rack Quattro	Pathport QUATTRO	10.1.139.227		4.1.1	4.1.1	Newer version available.

[Select Firmware]ボタンをクリックして、ロードするファームウェアバージョンを手動で選択することもできます。 Select Firmware File ダイアログが表示されます。

Version	Min Required	Manufacturer	Device Type
3.4.4.7	3.0.4.7	Pathway Connectivity	Pathport QUATTRO
4.1.1	3.4.4.7	Pathway Connectivity	Pathport QUATTRO

Select Firmware File ダイアログ自体には、Version、Min Require、Manufacture、Device Type などのいくつか の列があります。

```
    Version : 利用可能なすべてのファームウェアファイルのファームウェアバージョンを表示
    Min Require : そのバージョンにアップグレードするために機器に必要な一番古いファームウェア
バージョンを表示
    Manufacture : Pathway
    Device Type : 現在選択している機器
```

新しいファームウェアファイルが選択されると、そのバージョン番号が Selected 列に表示されます。 ファームウェアの更新を続行するには、[Send Firmware]ボタンをクリックします。

Device	Туре	IP Address	Current	Latest	Selected	Message	Progress	
👼 Desk Rack Quattro	Pathport QUATTRO	10.1.139.227		4.1.1	4.1.1	Transferring to Desk Rack Quattro		91%

Progress 列の緑色の進行状況バーが動き始め、Message 列のフィールドに"Firmware Update in Progress (フ ァームウェアの更新が進行中)"と"Transferring to 〈Device Name〉 (〈デバイス名〉に転送中)"と表示され、ファー ムウェアの転送が完了すると"〈Device Name〉 is restarting (〈デバイス名〉が再起動しています)"と表示されます。

※ 警告 ※

複数の機器のファームウェアを一度に更新するときは注意してください。VIA スイッチと接続されている PoE デバイスを同時に更新しないでください。ファームウェア更新プロセスでは、PoE デバイスのメモリ への書き込みを完了する前にスイッチを再起動することがあります。VIA スイッチが再起動すると、接続 されている PoE デバイスの電源が切断され、転送が遮断されて動作不能になる可能性があります。

操作をキャンセルするか別のファイルを選択する場合は、ウィンドウ内の行をクリックしてデバイスを選択し、 [Clear Selected]ボタンをクリックします。

RDM Device

Pathscape は、RDM 機器を識別し、モードやスタート・アドレスなどのプロパティを設定できる強力な RDM コントローラーです。

RDM 機器の整理された簡単なビューを取得するには、Select Viewドロップダウンメニューから RDM View を 選択します。これにより、理想的な方法でデバイスビューの列が設定されます。

もちろん、このビューを開始点として使用し、そこから独自のカスタムビューを作成することもできます。



RDM Discover コマンドを送信していないため、このビューの Device ウィンドウは空白になっているはずです。 これを行うには、Tools メニューをクリックして Discover All RDM メニュー項目を選択するか、デバイスビューで 右クリックして同じ項目を選択します。



Device ウィンドウに、すべてのデバイスポートで検出されたすべての RDM 機器が表示されます。

メッセージレベルが Verbose 以上に設定されている場合、メッセージビューアーに、オンラインになる機器に 関するいくつかのメッセージが表示されます。

RDM 機器が最初に検出されたときには、いくつかの基本的なプロパティのみが取得されます。

検出された RDM デバイスから詳細情報を表示するには、Auto Identify と Auto Details を有効にします。 Settings メニューでこれらを有効にしてください。



Auto Identify : クリックすると、選択された RDM 機器に[Identify(識別)]コマンドを自動的に送信。 別のものをクリックすると、最初のものは ID 自体を停止し、新しくクリックした デバイスに送信します。

これにより、ネットワークの設定時にクリックしている機器を簡単に参照できます。 [Identify]チェックボックスをクリックしてトランザクションを送信する追加の手順は必要ありません。

Auto Details : RDM GET ALL コマンドを自動的に送信して、Model、Manufacturer、RDM UID、 DMX Personality、Start Address などのデバイスプロパティを取得します。 これにより、すべての機器の Device Details または Get All ボタンを手動でクリック する必要がなくなります。

機器をクリックすると、そのプロパティが Properties ペインに読み込まれ、他の機器と同じように確認または 編集できます。

Auto Details を有効にせず、Get All コマンドを使用しない場合、Pathscape はどの値を入力すれば良いか分からないため、プロパティがすべて表示されず、ほとんどのフィールドがグレー表示されて編集できなくなります。

Basic Propertie	5
Firmware Version	1.7.5.0
Device Type	RDM Hub
Comms	
Identify 🗹	
Device	
Model Description	RDM Hub
Manufacturer	Pathway Connectivity Inc.
Name	Rack RDM Hub
RDM UID	5043:36fd
DMX Properties	5
DMX Personality	RDM Hub (0 slots)

Transaction Editor

プロパティに変更が加えられると、Transaction が作成され、Transaction Editor のキューに入れられます。

Destination	Property	Current Setting	New Setting	
10.6.27.72	Device Name	10.6.27.72	Stage Left Outputs	
10.6.27.72	Device Notes		OCTO Stage Left Top Rack	

トランザクションが送信されるまで、プロパティテーブルの新しいプロパティは黄色で強調表示されたままになります。キュー内の選択したアイテムを削除するか、キュー全体をフラッシュできます。

トランザクションエディターには4つの列があります。

- ・ Destination (宛先) … 変更が送信されるデバイスとサブデバイス
- ・ Description (説明) … 変更されるプロパティの名前または説明
- Current Setting (現在の設定) … プロパティの現在の値
- ・ New Setting (新しい設定) … プロパティの新しい値

表の下に3つのボタンがあります。[Send]ボタンは、キューに入れられたトランザクションのリスト全体を それぞれの宛先に送信します。

トランザクションエディターは複数選択テーブルです。次の方法で行を選択できます。

- その行をクリックして1つの行を選択します。
- Ctrl キー(Windows)または Command キー(Mac)を押しながら目的の行をクリックして、複数の 連続する行または連続しない行を選択します。
- 連続する複数の行を選択するには、まず1つの行をクリックして選択し、Shift キーを押しながら、 選択する範囲内の最後の行をクリックします。

行の選択を解除するには、Ctrl キー(Windows)または Command キー(Mac)を押しながらクリックします。

目的の行を選択(強調表示)したら、[Remove]ボタンをクリックしてトランザクションを削除できます。 すべてのトランザクションを削除するには、[Remove All]ボタンをクリックします。 この場合、行を手動で選択する必要はありません。 Message Viewer には、トランザクションモニタでコミットされたトランザクションの確認、ネットワーク上のデバイスの検出と損失、およびエラーメッセージが表示されます。

Message Viewer の動作は、Message Level メニュー項目によって制御されます。 メッセージが表示されない場合 は、メッセージレベルが Minimum に設定されている可能性があります。 この設定はエラーのみを表示します。 詳細を確認するには、メッセージレベルを Verbose に変更してみてください。

ilter:		Search: V	
Date	Time	Message	^
[Aug 22, 2019]	[16:23:14]	Vignette Clock Limited Connection : Desk Rack Clock	
[Aug 22, 2019]	[16:23:14]	Vignette Clock Online : Desk Rack Clock	
[Aug 22, 2019]	[16:23:14]	VIA10 Offline : Desk Rack VIA 10	
[Aug 22, 2019]	[16:23:15]	VIA10 Online : Desk Rack VIA 10	
[Aug 22, 2019]	[16:23:15]	VIA10 Limited Connection : Desk Rack VIA 10	
[Aug 22, 2019]	[16:23:35]	Device at 10.61.9.20 failed basic (unicast) connectivity check. Please check its N	4
[Aug 22, 2019]	[16:23:36]	VIA10 Offline : Desk Rack VIA 10	
[Aug 22, 2019]	[16:23:37]	VIA10 Online : Desk Rack VIA 10	*

Message Viewer ウィンドウは、2 つのテキストフィールド、2 つのボタン、およびメッセージテーブル自体で構成 されています。メッセージテーブルには、日付、時刻、メッセージの3つの列があります。 エラーおよび警告メッセージは赤で表示されます。

Device ウィンドウと同様に、メッセージ内のフレーズをフィルタリングまたは検索できます。 これらの機能は、Device ウィンドウの機能と同じです。

<u>メッセージのフィルタリング</u>

メッセージをフィルタリングして、フレーズに一致するメッセージのみを表示するには、Filter フィールドに テキストを入力します。 Pathscape は、入力されたテキストに一致するメッセージのみを表示します。 フィルターをクリアするには、テキストフィールド内の[X]をクリックします。

メッセージの検索

テキストボックスに検索するテキストを入力し、[Q]ボタンをクリックします。 次に、Pathscape は検索語に一致する最初のメッセージを強調表示します。

[Q]ボタンをもう一度押して[Find Next]し、一致する次のメッセージを強調表示します。

メッセージの削除

[Message Viewer]からすべてのメッセージを消去するには、 🧱 ボタンをクリックします。

Main Menu

♦ File Menu

Load Show

これにより、オペレーティングシステムの標準の Open File ダイアログが表示され、保存済みのショーファイ ルを選択してショーの設定済みプロパティを読み込むことができます。

Load Recent

フライアウトメニューを表示し、最近開いた 10 個のショーファイルを一覧表示します。

Save Show 🚺

現在ロードされている Show File がない場合は、オペレーティングシステムの標準の Save File ダイアログ が表示され、現在の設定済みプロパティを保存できます。 Show File がロードされると、Show File は現在の設定済みプロパティで上書きされます。

Save Show As

これにより、オペレーティングシステムの標準の Save File ダイアログが表示され、現在の設定済みプロパ ティを新しいファイルに保存して、後でリロードすることができます。

Exit 🛛 🛛

Pathscape を終了します。

Security Menu



(まだドメインにログインしていない場合) Security Domain User Login ウィンドウを開きます。 このウィンドウから、以前に作成したセキュリティドメインを 選択し、そのパスワードを入力してそのドメインにログイン します。

	Security Domain User Login
	Security Domain USEr Login
Path	You must select a Security Domain and account type in order to log into that domain with the correct Admin or User password.
Scape	Security Domain Name:
CALLS Device P	Password:
Environ HE 423 Mill Mill Andrew College Lyter Teed Vill Mill Mill Andrew Rocker Mill Andrew Since Mill Andrew College Mill Andrew Mill Mill Andrew College Mill Andrew Mill Mill Andrew	🗌 💸 Show Text
Coller Rob Centre Coller Rob Centre Coller Rob Sartin Coller Rob Sartin E Coller Rob Rob	
Date Antigues Date Antigues Crim Vannadi State Vannadi	
handle bage	
Pathway'	

Log Out 🗧

(現在ドメインにログインしている場合) これにより、現在のセキュリティドメインからログアウトします。



New Security Domain ウィンドウを開きます。 新しいセキュリティドメインに名前を付け、 管理者とユーザーのパスワードをここで設定します。

	New Security D	omain
	new security D	omani
Path	You must enter a new Sec and User passwords. You security domain at any one	urity Domain name and create. <i>Admin</i> can only be logged into a single e time.
Spalle	Domain Name:	pathway
tente Antes U Hullion	Admin Password:	•••••
Unit Unit 162027	Retype Admin Password:	••••
Note prevention there was not the second sec	User Password:	••••
Rest Curities Pethysen CHY Rask Dan Unterpret L Rest War R Rest War R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	Retype User Password:	••••
BUTHS UNS	Show Text	

Recovery Domain

ドメインへのパスワードが失われた場合に、セキュリティ デバイスへのアクセスを回復するために、保存されている Recovery Key を入力できる Reset Device Security ウィンドウを開きます。

5

Kecurity Wizard	? ×
	Reset Device Security
Path Scape	Enter the recovery key for the selected security domain. Entering the correct key will allow you to reset the <i>Admin</i> and <i>Leer</i> passwords on the selected domain. You will here be able to log in to that domain with the new passwords in order to once again securely communicate with the devices.
free free	Security Domain: pathway
443 0000 00000 000000000000000000000000	Recovery Key:
IREComment Rolew Vol. Hold JD Ramon ED Colonay Val. HEX-ED Colona sol 3 Anti. Relayant Colona al Orana Colona sol Colon. Relayant DCTD	
si Garano Ratyuno Di G ani Gan Manguno Di G atri Mari Di Ganguno Di G atri Mari Di Ganguno Di Ganguno Santa Maria Di Ganguno Iganta Alla Di Ganguno Maria Di Santa	Entering the correct Security Domain Recovery Key will allow you to reset the Admin password for the selected domain.
Number Deserte	
	Next > Cancel Help

Administration 🔬

Security Domain Admin Login ウィンドウを開きます。その後、Adding Devices、Changing the Passwords、 これらの機器への Factory Defaulting など、ドメインに変更を加えることができます。

Security Wizard	7 ×	🌠 Security Wizard ? 🗙
	Security Domain Admin Login	Adminstrator Utilities
Path	You must select a Security Domain and enter the correct Admin password to order perform administrative functions on the selected domain.	Click on an icon below to perform the desired administrative function on the selected domain.
Scape	Security Domain Name: pathway 👻	SCODE Security Domain: pathway
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Password:	
Annual Section 481 20 2012 2013 Million 491 20 2012 2013 Million 491 2013 2014 Million 491 2014 2014 Million 491 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2	Show Text	Add Devices
Needill Generation of the second seco	If you forgot your login information use the Recover Domain function to reset.	Change Passwords
	Next > Cancel Help	< Back Finish Cancel Help

♦ View Menu

Select View

フライアウトメニューを表示し、Device View Presets のリストを表示します。ユーザーが保存したプリセット が最初にリストされ、次にPathscapeのデフォルトビュー、次に含まれている既定のビューが表示されます。

Save View 9

これにより、現在の Device ウィンドウの列設定を新しいビュープリセットとして保存するためのダイアログが 表示されます。

?	×
8 c	ancel
	? 8 c

View Manager 🛛 🔗

View Manager が表示されます。このウィンドウから、ユーザーが作成したビュープリセットをインポート、エクスポート、または削除できます。

View Name	Import
New View	Export
	Delete

Property Columns

これにより、Property Columns ウィンドウが表示され、Device ウィンドウに表示される Device Property Columns を構成するために使用されます。

これらのカスタムビューは、Save View メニュー項目で保存できます

Resize All Columns 🛛 🚟

これにより、Device ビューに表示されているすべての列のサイズが、コンテンツに合わせて変更されます。 列の内容が完全に表示されていない場合は、その列が拡大されて収まります。 列の内容の後に余分な空白がある場合、列は収まるように縮小されます。

Expand All

これにより、機器のツリービューが展開され、読み込まれているすべてのデバイスとそのサブデバイスが表示されます。 テーブルビューでは適用されません。

Collapse All 🔀

これにより、機器のツリービューが折りたたまれ、すべてのサブデバイスが非表示になり、親デバイスのみ が表示されます。 テーブルビューでは適用されません。

Device Menu

Identify

これにより、現在選択されている機器は、その LCD パネルのバックライトまたは識別 LED を点滅させることで ID 自体を識別し、接続されている他の機器の識別を容易にします。

<u>Un-Identify</u>

これにより、選択した機器の識別バックライトまたは LED の点滅が停止します。

<u>Refresh</u> 🦲

これにより、現在選択されている機器のすべてのプロパティ値が更新されます。

Reboot 🌔

選択したオンラインデバイスに再起動コマンドが送信され、電源が再投入されます。 警告ダイアログが表示されます。Yesを選択して続行するか、Noを選択して再起動をキャンセルします。





これにより、選択した機器が工場出荷時の初期設定にリセットされます。工場出荷時のデフォルトプロセスをキャンセルできる警告ダイアログが表示されます。[Yes]を選択して続行するか、[No]を選択してリセットをキャンセルします。

F ac	tory Default	×
	WARNING: You are about to reset the selected devices to their factory defaults.	
	Are you sure you want to continue?	
	Yes No	

RDM Discovery

Pathport ゲートウェイサブデバイス/ポートをクリックして選択し、このメニュー項目をクリックして、そのポートで RDM Discover 信号を送信します。

検出された RDM 機器はすべて、そのポートのサブデバイス/子機として読み込まれます。

🗸 🏐 Online	Desk Rack Octo	Pathport OCTO
× 💿		
Soline State		DMX Repeater Pro
Soline (1997)		eDIN DMX to Analog Interface

Device Details

<u></u>

RDM デバイスが検出され	ると、Pathscape は必要な	Desk Rack 1011 - Port A	
DEVICE_INFO パラメータ。	L SUPPORTED_PARAMETERS	Device Type eDIN DC Driver	
パラメータの GET リクエス	ᠺトを自動的に送信します。	Comms	
これにより、各デバイスの	基本情報が検出直後に利用	Device	
可能になります。		Model Description	
ただし、メーカーのラベル	を含むいくつかの詳細はまだ	Manufacturer Name	
読んでいないため、空白	こなります。	Perform Selftest 0 (Off)	
デバイスビューには、UID	のみが表示されます。	RDM UID 5043:2326	
		DMX Properties	
✓ Signature Online Desk Rack 1	011 Pathport 1-Port (eDIN/UNO)	DMX Personality PWM (6 slots)	
~ 💿		DMX Start Address 50	
💙 Online	eDIN Contact Closure Interface	5.0	
📢 Online	eDIN DC Driver	Software Details	

Device Properties ウィンドウでより意味のある説明を取得するには、Device Details メニュー項目をクリック して、Manufacturer(製造元)およびその他のフィールドに入力します。これにより、選択したポートにいくつ かの GET RDM コマンドが送信されます。

~

- ・必要なデバイス情報(DEVICE_INFO)
- サポートされるパラメータ(SUPPORTED_PARAMETERS)
- ・パラメータの説明(PARAMETER_DESCRIPTION)
- ・ソフトウェアバージョンラベル(SOFTWARE_VERSION_LABEL)
- ・デバイスモデルの説明(DEVICE_MODEL_DESCRIPTION)
- ・メーカーのラベル(MANUFACTURER_LABEL)
- ・製品詳細 ID リスト (PRODUCT_DETAIL_ID_LIST)
- ・デバイスラベル(DEVICE_LABEL)

Pathscape は、これらの GET リクエストをポート上の選択 されたデバイスに送信し、返された情報を Device Properties ウィンドウに入力します。 RDM GET クエストで発生した エラーは、メッセージログに赤いテキストで報告されます。

Device Type	eDIN DC Driver	
Comms		
Identify		
Device		
Model Description	DIN DC Driver	
Manufacturer F	athway Connectivity Inc.	
Name		
Perform Selftest	0 (Off)	*
RDM UID 5	043:2326	
DMX Properties		
DMX Personality	PWM (6 slots)	•
DMX Start Address	50	-
Software Details		

DMX Information

これにより、選択した機器に複数の DMX GET コマンドが送信されます。

最初に DMX スタートアドレス (DMX_START_ADDRESS)の ThiGET を送信します。

次に、各パーソナリティの説明を求める GET コマンドを送信します。

それぞれのパーソナリティの数は、デバイス情報の検出および最初の GET 時に取得されます。

機器の現在の DMX パーソナリティに対する GET リクエストが送信され、最後に、機器の識別設定に対して GET リクエストが行われます。

情報は、Device Properties ウィンドウの DMX タブに表示され、ユーザーは DMX セットアップを構成できます。

<u>GET All</u>

これにより、選択した機器から使用可能なすべての RDM プロパティを取得するリクエストが送信されます。 このコマンドで取得されるプロパティの数とタイプは、デバイスによって異なります。

機器に多数のプロパティがある場合、GET ALL コマンドには数秒かかることがあります。

♦ Tools Menu

DATA Scope

これにより、いくつかのネットワーク DMX プロトコルから選択できるフライアウトメニューが開きます。 次の いずれかをクリックすると、そのプロトコル(Art-Net、Show-Net、Pathport Protocol、および E1.31 sACN)の データスコープウィンドウが開きます。

	Tools Settin	ngs Window H	Help		
	Data Sco	ope 🕨 🗚	Art-Net	1	
	🕌 Virtual C	onsole 🦉	Show-Net		
	🛷 Discover	AII RDM	Pathport xDMX		
	Firmwar	e 💾	2 E1.31 sACN	Search:	
	Subdev #	Name	Start Slot	# Open Data Scope :	
EatsScope - E131 SACN					- 🗆 X
Deta Sources	IN Norther Grant line	Shie Ger 123 Ger			
Vigretie - Playtack 237	IN COLUMN	7 10 14 10 11 12 1	1 14 15 14 17 11 19 20 21	2 2 3 3 3 3 7 7 8 3 8	anne i 🖉 🥥
Choisese E 10/0 0.40 Pro	150 146 155 155 148 13	10 100 140 100 100 100 100 1		THE 145 135 135 141 151 155 140 155 15	Set Uniese
	151 151 153 154 152 14			153 (50 (25 (53 (14 (16 (15) (19 (15))	o no
	55 66 67 68 69 7		7 73 79 60 11 62 13 04 15	15 57 55 57 10 11 12 12 14 15 14 15 15 14 14 15 15 14 15 15	Fercercage
	10 98 99 110 LDI 10				1.15 Fadoet Color Smorting:
	191 195 193 193 197 19	1 151 105 105 101 101 105 150 1	en ten tils mit der ren tell ten mit	101 146 143 140 146 161 155 146 140 15 167 161 162 161 164 165 164 162 168 16	
	161 183 148 163 163 1	0, 100 100 100 100 100 100 1	10 110 110 110 110 110 110 110 110	10 10 10 10 10 10 10 10 10	
	141 162 143 164 168 16	4 147 148 149 130 171 177 13 14 141 183 155 148 155 155 1	73 154 175 156 173 126 174 185 181 1 46 155 155 145 145 155 145 155 155	102 103 100 105 100 107 300 100 100 10 305 105 115 100 105 105 100 115 100 10	
	710 104 105 106 107 10				1 224
	191 145 193 112 141 15				
	153, 183, 145, 131, 153, 14	0 10 10 10 10 10 10 10 10	10 10 16 10 10 16 16 10 10 16	20 10 14 10 10 18 10 10 14 1	2 B2
	251 256 219 200 251 26	2 263 264 265 256 267 268 26	9 200 211 202 201 214 206 216 207 1	276 279 280 261 282 280 284 286 286 28	
	289 290 291 292 290 29				1 20
	103 146 193 103 146 15				
	100 100 100 100 100 10	6 123 123 143 123 133 144 1	10 104 10 10 10 10 10 10 10 10 10	101 100 140 100 100 140 100 140 140 14	
	353 254 255 254 357 25	1 369 560 561 562 563 564 5M	45 366 367 368 361 379 375 372 373 3	174 175 376 177 379 379 306 101 362 30	1.24
	205 505 507 500 209 79			406 407 408 409 4.0 411 4.1 413 414 4.	
	101 246 153 158 146 15				D 148
	417 419 419 420 421 42 153 963 146 953 153 14	2 423 424 425 426 427 428 40 6 193 193 194 195 195 146 1	29 400 401 402 401 404 405 406 407 4 53 153 146 401 160 646 151 155 646	ESE 439 440 441 442 443 444 445 446 44 143 153 146 155 166 44 155 146 146 1	
	+++ +51 +51 +52 +53 +5	4 455 455 457 458 455 468 48	1 462 464 464 464 464 464 464 464 464	470 471 472 473 474 475 476 477 478 47	1 10
	-71 452 473 464 416 45	E 407 409 409 400 401 402 40	15 454 415 406 407 408 409 500 501	502 MID 504 505 546 507 504 509 510 51	
la la companya da compa	1 CT 1 CT 1 CT 1 CT 1 CT		0 8 0 8 8 0 8 0	and the first first first first first first first	0
2 2					

Data Scope ウィンドウでは、DMX データの視覚的な解釈が可能で、トラブルシューティングやネットワーク 機能のテストに使用できます。ネットワークで DMX レベルを表示するには、DMX Monitor、Graph View、 White Grid、RGB Grid の 4 つの方法があります。データスコープは、各プロトコルで同一に見えます。

ウィンドウの左側の DMX Sources ペインには、xDMX データのソースが表示されます。 ユニバース、DMX ソースの IP アドレス、優先度が表示されます。 ソースが Vignette システムからのものである場合、ユニバース番号の代わりに Vignette と再生番号が表示されます。



先程の DATA Scope 画面は DMX モニタービューになります。 このビューでは、各 DMX チャネルとその値がグリッドに表示されます。 表示された値は、右側のラジオボタンを使用して、Decimal/10 進数 (0~255)、Hex/16 進数、Percentage/パーセント(0~FL)として表示でき ます。

目的のユニバースを表示するには、左側のパネルで DMX ソースを選択 してから、右側のパネルのドロップダウンメニューを使用します。 フィールドに

直接入力するか、下矢印をクリックしてリストからユニバースを選択 します。





目的のユニバースを選択した後、[Set Universe]ボタンをクリックすると、そのユニバースの値が 表示されます。

各チャネルのデータ値は、レベルが変化している方向に応じて色が変わる場合があります。

チャネルが立ち上がる : チャネルのデータ値はシアンで表示 値の増加が止まる : 色はマゼンタに変わり、新しいパケットを受信するたびに点滅 チャネルレベルがダウン : データ値が緑色で表示 チャンネルレベルが0に達する : 点滅せずに白で表示

Packet Color Smoothing の下のラジオボタンは、チャネルのレベルが変化している間、重複パケット を無視するかどうかを制御します。

フェードが非常に遅い場合、レベルが上昇または下降している場合でも、同じレベルで複数のパケットを連続して取得することができます。

Packet Color Smoothing を OFF に設定すると、チャネルレベルが変更されていないパケットはマゼン タで表示され、レベルが増加または減少するとすぐに変化します。これにより、フェード中に表示値の 不要なカラーフリッカーが発生する可能性があります。パケットカラースムージングを ON にして、レベ ルが変わるまで重複パケットを無視します。デフォルトはオンです。 グラフビューは、一定期間のチャネルレベルを表示する方法を提供します。チャネルレベルは、下部の0から上部の255まで垂直に表示されます。データは右から左に読み取られます。 最新のデータ値はグラフの右端に表示され、時間の経過とともに左に移動します。



グラフビューで一度に監視する最大8つのチャネルを入力できます。 監視するチャネルのユニバースとチャネル番号を入力したら、[Enter]ボタンをクリックします。 追加のチャネルは、それらを区別するのに役立つようにグラフ上で異なる色で表示されます。 すべてのチャンネルをクリアしてブランク状態にするには、[Clear]ボタンをクリックします。 [Enter]ボタンと[Clear]ボタンの下に、グラフに表示されるタイミングマーカーと垂直マーカーを編集す るセクションがあります。

Graph	Duration フィールド	
:	水平時間スケール、またはデータポイントが	「画面上にある時間を決定します。
	デフォルトでは、1 分に設定されています。	
	期間を編集するには、ドロップダウンメニュー	ーをクリックして分または秒を選択し、
	新しい値(整数、最小1分または秒)を入力	します。
	Graph Duration: 1	Minutes 💌
	Show marker every: 15	Seconds 💌
		Pause

Show Marker Every

: 垂直マーカー線の分布を決定します。 デフォルトでは、これは 15 秒に設定されています。 デフォルトのグラフ継続時間は 1 分です。これにより、グラフビューが 4 つのセクション に分割されます。ドロップダウンメニューをクリックしてマーカーの間隔を編集し、 分または秒を選択して、新しい値(整数、最小 1 分または秒)を入力します。

Graph Duration:	1	Minutes	•
Show marker every:	15	Seconds Minutes	
		Pause	**

Pause

: ボタンをクリックすると、グラフの更新と新しいデータの表示を停止します。
 これは、トラブルシューティングやテストシナリオに役立ちます。
 ウィンドウの下部にある Save to Image ボタンをクリックすると、標準の Save ダイアログが開き、グラフのスクリーンキャプチャを簡単に保存できます。







このビューは、円形の白色光として表されるチャネルのグリッドを表示します。 各チャネルの DMX 値は、各円の明るさを決定します。

左側のパネルで、DMX ソースを選択します。

右側のパネルで、Universeフィールドに入力するか、ドロップダウンメニューを 使用してリストからユニバースを選択することにより、表示するユニバースを 選択します。



必要に応じて、開始チャネルを指定できます。 デフォルトは 1 です。開始チャネルを編集するには、 フィールドに新しい値を入力するか、ドロップダウンを使用して新しい値を選択します。

Rows/行および Columns/列フィールドを編集して、ライトのグリッドレイアウトをカスタマイズすること もできます。 デフォルト値はそれぞれ 16 と 32 です。 これらの値を調整して、特定のシナリオに適し た方法でライトグリッドを表示します。
RGB グリッドビューは、前のホワイトグリッドビューと同様に、3 つの DMX チャネルすべてを 1 つの仮想 RGB フィクスチャに結合します。



このビューでは、仮想フィクスチャ1のチャネル1が赤、チャネル2が緑、チャネル3が青であると想 定しています。チャネル4、、5、6は仮想フィクスチャ2の赤、緑、青です。3つのチャネルのそれぞれ の値は、色付きの円の色と強度を決定します。

データスコープの他のすべてのビューと同様に、左側のパネルで DMX ソースを選択し、右側のパネルで目的のユニバースとスタート チャンネルを選択してから、[Set Universe]ボタンをクリックします。



White Grid ビューと同様に、行と列のフィールドをシナリオで機能する値に編集することで、グリッドのレイアウトをカスタマイズできます。デフォルト値はそれぞれ 13 と 14 です。

Display Text チェックボックスをクリックして、各仮想フィクスチャの個々の 赤、緑、青の値を表示します。 「RX.XX GX.XX BX.XX」として表示されます。 X.XX は、0.00(0%)から 1.00(100%)までの数値です。



Virtual Console

これにより、仮想 xDMX コンソールウィンドウが開き、複数のプロトコルで任意のユニバースに出力できます。これはテスト目的で使用することを目的としています。

V	irtu	el Co	nsol																																	-		>
	4	13	14	5	6	7		8	9	10	11	12	13	16	15	15	17	28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	22	Send Interface:		Ethe	ernet 2		2
	0	0.	0	0	0	0		9.9	0 41	0.0	0.9	0 44	0 45	0 45	0 47	0.48	0 49	0 50	0.51	0 32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 67	63	0.54	Protocol:		E1.3	11 SAO	N	-
								0																									Onverse	1		10	Set Univer	i.
	00	67	60	0				72	73		£.,	20		78	10	. 6	81	02 0	83	84	05	80		80	07	90	91	92	93	27	5.0	8 .	Channel		1			
	98	99	10	0 10	11 11	12 10		104	105	106	157	108	129	110	111		113	114	115		117	118	119	120	121	122	123	124		126	127	128	Prev				iest	
		0	0	0	0	0		0		0	0	0	Ф 141	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0	0	0 160	Levels Ef	Hects				
	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0		0	0	٥				0		0	0	0	0	0	0		0	0%	1	50%	1.0	75%	
	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		-	-	_		
	194		5 19			18 IS						204																					101-		abreak of			
	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2	- A	See		
	0	0	0	0	0	0		0	0	0	•		0	0	0	0	a	a	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1		15		
	258		9 26			12 2																		290										St.		H		
	0 290	0	0	0 75	0	0		0 296	0 297	0 798	0	0 300	0	0	0	0.	0 305	0	0.	0.	0	0	0	0	0	0	315	0.	0	318	319	0.320		24	1	8		
	0	0	0	0	0	•		0	0	0	•	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		Stop	and Rele	65E		
	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	354		5 35	6 33		58 .33						364				368																						
	0		0	0	0	0		0	0		0		0	0																								
	1		1.00	17	9.2	10		2942	350	-	- 250	200	287	200	277	400	401	40.2	400	404	405	100	-907	-103	409	410	211	412	413	114	10	410						
	412	412	9 42	0 40	11 40	22 4		424	425	425	427	405	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	445	442	+13	444	.445	-945	.447	445						
								0																														
	450		3 45	2 41	11 -4	54 4		456				460	461			464	465	46.6	467	468	469											400						
	-493	0	3 10	4 12	15 19	9 51 4	17	463	489	400	.491	412	411	454	415	400	417	-#18	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	Command Line:					
								-							-																				_	_		ŝ

開始するには、右側のパネルのドロップダウンを使用して、適切な Send Interface(ネットワークインターフェイスコントローラー)、Protocol、Universe を選択します。

Send Interface:		Ethernet 2 💌
Protocol:		E1.31 SACN 🔻
Universe	1	Art-Net
Channel		Pathport

これで、チャネルを選択し、右側のパネルの[Protpcol]ボタンと[Universe]ボタンを使用して、チャネルを操作できます。

マウスを使用してチャネルをクリックして選択します。現在選択されているチャネルの輪郭が赤で表示され、 マウスカーソルの下のチャネルの輪郭がシアンで表示されます。[Prev/前へ]ボタンと[Next/次へ]ボタンを 使用して、一度に1つのチャネルをどちらかの方向に移動することもできます。

268	269	270 271 :	Channel	1
0	0		Prev	Next

チャンネルを操作するために、[Prev]ボタンと[Next]ボタンの下には、Level と Effects の 2 つのタブがあります。

Levels: Level Panelを使用して、選択したチャネルの固定レベルを設定します。





Effects : エフェクトパネルには 4 つのプリセットエフェクトがあり、ネットワークのテストやトラブル シューティングの目的で役立ちます。それらは、Flash、Linear One、Linear All、Sine です。

Flash	Linear One
Linear All	Sine
Stop E	ffects

Flash … 選択されたチャンネルのレベルを 1Hz の方形波で 0 と FULL(255)の間で循環
Linear One … 選択したチャンネルのレベルを 0 から FULL(255)までフェードさせ、一定の割合で再び 0 に戻します。0 から FULL へのフェードは約 8 秒
Linear All … Linear One エフェクトと同じだが、選択したユニバースの 512 チャネルすべてに適用
Sine … 選択したチャンネルのレベルを 0~FULL(255)の範囲で、0.5 Hz の正弦波レートで循環

Stop Effect … 現在実行中のエフェクトの一部またはすべてを停止

Command Line : 右側のパネル下部のコマンドラインで DMX レベルを設定 隣接しない範囲であっても、複数のチャネルレベルを設定可能

> (順番に)Channel specification/チャネルの仕様、Channel value/チャネルの値、 termination/ターミネータで構成

Channel specification

- ・ 単一のチャネル番号 (例:[1]、[512])
- ・ スラッシュ[/]を[スルー]としてチャネル番号の範囲を設定 <例:[1/5]→1~5>
- ・[+]でチャンネルを追加設定 <例:[1+3+5]→1&3&5>
- ・上記の2つの組み合わせ <例:[1/5+30+40/50]→1~5&30&40~50>

Channel value

[*](アスタリスク)文字と、それに続く0~255のDMX値を指定する10進数。
 <例:[* 127]→127(50%)>

ターミネータ

• キャリッジリターン文字(Enter キーまたは Return キー)

コマンド例:

- ・ [1 * 255 <enter>] … チャンネル 1 を 255 (フル)に設定
- ・[1/5 * 127 <enter>] … チャネル 1~5を 127(50%)に設定
- ・[1+3+5*255 <enter>] … チャネル 1、3、5を255(フル)に設定
- [1/5 + 30 + 40/50 * 127 <enter>]
 - … チャネル 1~5、チャネル 30、およびチャネル 40~50~127(50%)を設定

Discover All RDM

このメニュー項目をクリックして、すべてのゲートウェイポートで RDM Discover 信号を送信します。 検出された RDM 機器はすべて、該当するポートのサブデバイスとして読み込まれます。

Firmware

これにより、Firmware Update ウィンドウが開きます。 (詳細な手順については、Updating Device Firmware セクションを参照) Setting Menu

Auto Identify

このチェックメニュー項目は、選択したデバイスの ID モードへの自動設定を有効または無効を設定します。 有効にすると、選択した機器の LED または LCD バックライトを識別するために点滅させます。 別の機器を選択すると、前のデバイスは自体の識別を停止し、新しく選択した機器は自体の識別を開始。

Auto Details

このチェック可能なメニュー項目は、デバイスビューで選択されている RDM GETdevice details コマンドの RDM デバイスへの自動送信を有効または無効にします。

DMX on Discovery

このメニュー項目をオンにすると、RDM Discovery プロセス中に Get DMX Information コマンドの自動送信 が有効になります。

Show Button Text

このメニュー項目をチェックして、すべての UI ボタンの説明テキストを表示または非表示にします。



VLAN Global Properties

VLAN Global Properties ウィンドウが開きます。(VLAN の構成については、VLAN Config を参照)

Message Level

このメニュー項目は、メッセージビューアでメッセージの詳細レベルを変更するためのいくつかのオプション (Minimum、Verbose、Maximum)を含むフライアウトメニューを開きます。

 Minimum : 警告メッセージとエラーメッセージのみを表示。(これがデフォルトの設定) Verbose(Midium)が表示するメッセージが多すぎると感じる場合は、この設定を使用
 Verbose(Midium) : 警告、エラー、および情報メッセージ(デバイスのオンとオフラインなど)を表示
 Maximum : 警告、エラー、情報、システムメッセージ、および将来追加される可能性のあるメッセージタイプを表示。(主にデバッグまたはテクニカルサポートの目的で設計されている)

Window Menu



Properties

このチェックボックス項目は、メインウィンドウのプロパティパネルを表示または非表示にします。

Transaction Editor

このチェックボックス項目は、メインウィンドウのトランザクションエディターを表示または非表示にします。

Message Viewer

このチェックボックス項目は、メインウィンドウのメッセージビューアを表示または非表示にします。

<u>Toolbar</u>

このチェックボックス項目は、メインウィンドウのツールバーを表示または非表示にします。

Open All

このメニュー項目は、3 つ以上のドッキング可能なウィンドウ(Properties Panel、Message Viewer、 Transaction Editor)のいずれかまたはすべてが非表示の場合に表示されます。

Close All

このメニュー項目は、3 つ以上のドッキング可能なウィンドウ(Properties Panel、Message Viewer、 Transaction Editor)のいずれかまたはすべてが開いている場合に非表示にします。

♦ Help Menu

Menu 📃

このメニュー項目は、このマニュアルの PDF バージョンを開きます。



これにより、Pathscapeのバージョン情報とテクニカルサポートの連絡先情報を含むウィンドウが開きます。

Path	scape	
CAc	uity Brands Lighting Canada	
Versi	on 2.0.0 BETA 2 Aug 2 2019	
Revis	ion 2898	
Supp	xort Contact	
Busi	ness Hours: 0830h to 1630h Mountain Time	
lf yo	a require before or after sales support, or have a problem with any Pathway	
prod	uct, you can contact Pathway Support:	
By Te	dephone: +1 (403) 243-8110	
By e	mail: support@pathwayconnect.com	
By p	osting to our user forums: forums.pathwayconnect.com	
	OK	

www.pathwayconnect.com

www

このメニュー項目は、デフォルトの Web ブラウザーを開き、Pathway Connectivity Web サイトに接続します。

About Pathscape

このメニュー項目は、バージョン番号、日付、その他の該当する情報を含む、Pathscape についての情報を 開きます。

